

春日井市民病院年報

第 2 卷

(2015)

春日井市民病院

序

昨年から体裁を変更した病院年報を発刊し、その2巻目を発行する時期となりました。編集委員会から巻頭言を依頼されましたので寄稿します。体裁を大幅に変更したことへのご批判やご叱声があるかと危惧しておりましたが、年報を送付してから現在までの間、幸いにも特別のご意見は頂戴しませんでした。年報が注目されず、本箱の片隅に放置されたままであるのなら残念ではありますが、体裁変更についてご理解いただいたものと考え、今後もこのような内容で、その時々の特ピックスも加え、発刊してまいります。

平成26年（2014年）4月から27年（2015年）3月までの間に、当院職員が行ってきた地域との交流を深めるさまざまな勉強会や講演会、医療レベル向上を目指しての各種院内講演会、医療を行う上で疑問に思ったことや経験したことを学会で報告したこと、剖検症例に対するCPCなど、職員が何を考えてこの1年間を過ごしてきたのかを年報としてまとめました。医師職員だけでなく、看護局、薬剤部、臨床検査部、技術部など各層からの活動がご紹介できることは、当院の医療レベルのさらなるボトムアップに寄与するものと喜んでおります。当院は平成24年に尾張北部医療圏で最初に地域医療支援病院の指定を受け、多くの連携病院のご支援を受け、急性期病院として活動しています。紹介率も逆紹介率も順調に推移しています。連携医療機関の皆様にご紹介いただくことは、今後の医療連携をさらに進化させるために必須と考えています。お暇な時間には是非通覧していただき、またご意見を頂戴できると幸甚です。

さて、当院が地域住民に信頼される病院であり続けるために努力することは当然ですが、連携医療機関の皆様にご利用しやすく、安心して患者さんを紹介していただける病院となることを使命として、職員一丸となって研鑽してまいりました。その努力の結果、平成27年10月には救命救急センター（三次救急）の指定を受けることができました。従来から「断らない救急」をモットーとして、愛知県下で最多の救急搬送実績で救急医療を提供してきた当院職員および前線で働く研修医にとって、三次救急の指定は悲願でありましたが、今までの努力が認められた結果であり、当院の救急外来維持に貢献してくださった当院OBの先生方に対し深甚なる謝意を、紙面を借りてお伝えしたいと思います。今後は当院救急外来に隣接する春日井市休日・平日夜間急病診療所の協力を頂戴し、重症患者の救急医療に特化していきたいと思っております。春日井市医師会・歯科医師会の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

個々人の業績集を編纂することは、個人の人生の節目にあたり、その足跡をまとめるものであり、過去の業績を懐かしむという行為が未来への発展につながるかどうかは、編纂者の心構えによると思っております。一方、病院年報は、先人から連綿と引き継がれる事業の一里塚であり、将来の発展につながるものです。医療レベルがさらに向上し、職員による情報発信が増加し、地域住民からの信頼向上を目指し、その評価が集成された年報の継続を祈念します。

平成28年2月

院長 渡邊 有三

春日井市民病院の基本理念

春日井市民病院は自治体病院として地域の医療にかかわる要望に誠実かつ不断に応えることを存立の意義とする。

基本方針

- 1 人権の尊重によって築かれる相互の信頼のもとに、医療を受けられる方の意思が反映された医療を行います。
- 2 正当な根拠に基づく良質で高水準の医療を効率的に行うために絶えず研鑽します。
- 3 急性期医療の拡充と専門医療の推進に努めます。
- 4 地域の基幹病院として、医療機関、介護サービス事業者、保健・福祉行政との連携を密にして地域完結型医療を推進します。
- 5 公営企業として健全な経営に努めます。

個人情報保護方針

春日井市民病院では地域の医療にかかわる要望に誠実かつ不断に応えることを基本理念とし、治療を受ける皆様と当院の職員が、相互信頼のもとに良質で高度な医療を提供しています。皆様の個人情報についても、適切に保護し管理することが非常に重要であると考えております。

そのため、当院では次のとおり個人情報保護方針を定め、確実な履行に努めます。

1 個人情報の収集について

当院が治療を受ける皆様の個人情報を収集する場合、診療・看護及び皆様の医療にかかわる範囲で行います。その他の目的で個人情報を収集する場合は、その利用目的をあらかじめお知らせし、同意を得た上で行います。

2 個人情報の利用および提供について

当院は治療を受ける皆様の個人情報の利用については、以下の場合を除き、本来の利用目的の範囲を超えません。

- (1) 治療を受ける皆様の了解をいただいた場合
- (2) 法令等により提供を要求された場合
- (3) 個人を識別あるいは特定できない状態に加工して利用する場合

3 個人情報の適正管理について

当院は治療を受ける皆様の個人情報について、正確かつ最新の状態に保ち、漏えい、紛失、破壊、改ざん等の未然防止に努めます。

4 個人情報の確認・修正等について

当院は治療を受ける皆様の個人情報について、皆様から開示を求められた場合、当院の「診療情報の提供についての指針」に従って対応します。また内容が事実でない等の理由で訂正を求められた場合も、直ちに調査し適切に対応します。

5 問い合わせ等の窓口について

個人情報保護方針や個人情報に関する皆様のお尋ねについては、医事課でお聞きいたします。

6 法令等の遵守と見直しについて

当院は個人情報に関する法令や市条例その他の規範を遵守するとともに、この指針の各項目の見直しを適宜行い、個人情報を保護するために最善の努力をいたします。

平成17年4月1日

個人情報保護管理者

春日井市民病院 院長

目 次

院長挨拶

春日井市民病院の基本理念・基本方針

個人情報保護方針

研究実績

| | |
|----------|----|
| 優秀論文賞 | 1 |
| 優秀演題賞 | 1 |
| 著書 | 2 |
| 総説 | 3 |
| 論文 | 6 |
| 国際学会 | 9 |
| 全国学会 | 9 |
| 地方学会・研究会 | 16 |
| 講演等 | 19 |
| 研修会等 | 22 |
| 研修医CPC | 28 |
| 剖検報告 | 29 |

病院概要

I 施設概要

| | |
|--------------------|----|
| 1 沿革 | 31 |
| 2 歴代院長等 | 35 |
| 3 施設 | 37 |
| 4 施設基準等 | 38 |
| 5 各種指定医・指定医療機関等の状況 | 40 |
| 6 組織 | 42 |
| 7 職員数 | 43 |
| 8 主要医療器械備品 | 44 |

II 業務概要

| | |
|-------------------|----|
| 1 外来受診者数 | 45 |
| 2 入院者数 | 47 |
| 3 入院・外来の患者構成と居住地区 | 49 |
| 4 医療連携事業 | 50 |
| 5 紹介・逆紹介患者数及び紹介率 | 50 |
| 6 診療時間外救急受入状況 | 51 |
| 7 予約受診者数 | 52 |
| 8 手術等件数 | 53 |
| 9 人工透析件数 | 54 |
| 10 分娩件数 | 54 |

| | | |
|---------------|--------------------|----|
| 11 | 剖検件数 | 54 |
| 12 | 栄養指導等件数 | 54 |
| 13 | 処方せん枚数、薬剤管理指導件数 | 54 |
| 14 | 検査件数 | 54 |
| 15 | 放射線撮影件数 | 55 |
| 16 | 各種検診等 | 55 |
| 17 | がん相談支援センター相談件数 | 55 |
| 18 | 特殊外来の状況 | 56 |
| 19 | 市民公開講座 | 57 |
| Ⅲ 経理概要 | | |
| 1 | 年度別収支状況 | |
| | (1) 総括 | 58 |
| | (2) 収益的収支 | 59 |
| | (3) 資本的収支 | 60 |
| 2 | 貸借対照表 | 61 |
| 3 | 経営分析 | 64 |
| | 平成26年度の病院事業概要 | 65 |
| | 地域連携誌「Trinity」の発行 | 67 |
| | 病院新聞「さくら」の発行 | 68 |
| | 中日新聞「リンクト」LINKED | 69 |
| | 平成26年度市民病院フォトギャラリー | 70 |

研究実績

優秀論文賞

<平成26年度日本小児アレルギー学会優秀論文賞>

日本小児アレルギー学会誌 第27巻第2号

179~187, 2013

食物経口負荷試験の結果に基づく アレルゲン食品摂取指導 (第1報)

あいち小児保健医療総合センター アレルギー科

小林 貴江 漢人 直之 羽根田泰宏

安井 正宏 前田 徹 榎村 春江

小田 奈穂 伊藤 浩明

【はじめに】 食物経口負荷試験の結果に基づき定量的にアレルゲン摂取を開始する食事指導の実行可能性と安全性を検討した。

【方法】 対象者の年齢は11~161カ月、食物経口負荷試験の目的は、食物アレルギー診療ガイドライン2012に記載された診断・耐性獲得診断を含む。ゆで卵白・うどん・牛乳を用いた1、2、5、10、20-30g漸増法による負荷試験で、負荷陰性者は最終負荷量から、負荷陽性者は症状グレードに応じて減量した摂取開始量を設定した。摂取食品は、鶏卵はゆで卵白・いり卵・薄焼き卵、小麦はうどん・麺類、牛乳は牛乳・ヨーグルトを使用した。1~2カ月後の外来で、食事日誌の記載を基にして症状出現の有無等を確認した。

【結果】 負荷試験の結果、除去継続と判定し摂取指導未実施群99人を除く142人（負荷陰性78人、陽性64人）に摂取指導を行い、そのうち123人は指示した摂取食品、回数、量を遵守して摂取が出来ていた。負荷陽性者の総摂取回数1181回のうち、68回（5.8%）で誘発症状を認めたと、負荷陰性者1179回中54回（4.6%）と比較して有意な差を認めなかった。抗ヒスタミン薬の使用は4回で、そのうち3回は負荷陰性者であった。

【まとめ】 今回の食事指導は、負荷陽性者に対しても負荷陰性者と同等の安全性をもって実施可能であった。

優秀演題賞

<第44回日本腎臓学会西部学術大会優秀演題>

当院における高Ca血症患者の検査値 による原疾患の違いと、原疾患が 腎機能に与える影響についての検討

春日井市民病院

谷口 容平 古賀 俊充 唐澤 宗稔

山下 良子 横江 優貴 坂 洋祐

成瀬 友彦 渡邊 有三

【目的】 高Ca血症は、一般に原発性副甲状腺機能亢進症（PHPT）、悪性腫瘍、ビタミンD中毒が多く認められる。今回我々は当院における高Ca血症の原疾患および原疾患による腎機能の推移について検討を行った。

【方法】 当院における20XX年4月から2年後12月までの高Ca血症患者を集計し、補正Ca濃度別に原疾患の検討を行った。また、高Ca血症治療前と治療後の腎機能について評価した。

【結果】 補正Ca12mg/dl以上の群においては悪性腫瘍の割合が多くPHPTの患者は認めなかった。補正Ca11-12mg/dlの群においては脱水やビタミンD中毒、PHPTの患者が多く認められた。また高Ca血症改善後の腎機能についてはビタミンD中毒、悪性腫瘍、PHPTのうち、ビタミンD中毒の患者においてのみ有意に腎機能が改善していた（eGFR:治療前21.1 ± 15.9 vs. 治療後40.3 ± 16.3, p=0.005）。悪性腫瘍では腎機能は有意差はないものの腎機能の改善傾向（eGFR:治療前50.6 ± 34.93 vs. 治療後67.0 ± 36.1, p=0.18）が認められ、PHPTでは腎機能の変化が認められなかった（eGFR:治療前69.3 ± 22.6 vs. 治療後67.0 ± 24.0, p=0.86）。

【考察】 治療前のCa濃度により原疾患が異なる傾向にあった。またビタミンD中毒による腎機能障害の多くは可逆的であった。

著書

- 全人力・科学力・透析力・for the people 透析医学
(医薬ジャーナル) 65~69, 2014

透析導入と高齢化にかかわる諸問題

春日井市民病院 院長
渡邊 有三

- 血液透析施行時のトラブル・マニュアル[改訂第3版]
(日本メディカルセンター) 79~88, 2014

Ⅲ部 症状 6. 便通異常(便秘・下痢)

春日井市民病院 院長
渡邊 有三

- 別冊日本臨床 新領域別症候群シリーズ NO.27
神経症候群(第2版) その他の神経疾患を含めてⅡ
751~754, 2014

Ⅳ 自己免疫疾患 傍腫瘍性神経症候群 傍腫瘍性脳幹脳炎 Paraneoplastic brainstem encephalitis

春日井市民病院 神経内科
平山 幹生

- 縦隔腫瘍・胸膜腫瘍(文光堂) 29~38, 2014

胸腺腫(2)

リンパ性間質を伴う小結節性胸腺腫、
化生性胸腺腫、顕微鏡的胸腺腫、
硬化性胸腺腫、脂肪線維腺腫

春日井市民病院 病理部
立山 尚

- 縦隔腫瘍・胸膜腫瘍(文光堂) 44~46, 2014

胸腺癌(2) 類基底癌

春日井市民病院 病理部
立山 尚

- 縦隔腫瘍・胸膜腫瘍(文光堂) 53~55, 2014

胸腺癌(5) 肉腫様癌

春日井市民病院 病理部
立山 尚

- 縦隔腫瘍・胸膜腫瘍(文光堂) 132~137, 2014

胸腺腫の浸潤の評価

春日井市民病院 病理部
立山 尚

- WHO Classification of Tumours of the Lung,
Pleura, Thymus and Heart 205~206, 2015

Micronodular thymoma with lymphoid stroma

H.Tateyama

(Kasugai Municipal Hospital Department
of Pathology, Japan)

N.Girard(Hopital Louis Pradel, France)

A.Marx(University Medical Centre Mannheim)

A.M.Marchevsky

(Cedars-Sinak Medical Center, LA, USA)

P.Strobel

(University Medical Centre Gottingen, Germany)

E.M.Marom

(The Chaim Sheba Medical Center, Israel)

F.Detterbeck (Yale University, New Haven, USA)

K.Mukai

(Saiseikai Central Hospital, Tokyo, Japan)

- WHO Classification of Tumours of the Lung, Pleura, Thymus and Heart 220~223, 2015

Lymphoepithelioma-like carcinoma

J.K.C.Chan
(Queen Elizabeth Hospital, Hong Kong, China)
Marom, E.M.
(The Chaim Sheba Medical Center, Israel)
L.Chalabreysse(Hopital Louis Pradel, France)
K.Mukai(Saiseikai Central Hospital, Tokyo, Japan)
F.Detterbeck(Yale University, USA)
H.Tateyama
(Kasugai Municipal Hospital Department of Pathology, Japan)

- WHO Classification of Tumours of the Lung, Pleura, Thymus and Heart 233~238, 2015

Other rare thymic carcinomas

D.Nonaka
(The Christie Hospital, Manchester University, UK)
H.Tateyama
(Kasugai Municipal Hospital Department of Pathology, Japan)

- これから始める血管エコー
(株式会社メジカルビュー社発行) 126~136, 2014

下肢動脈

春日井市民病院 臨床検査技術室
若林 弥生

総説

- 臨床透析：Vol.30 No.1 35~44, 2014

糖尿病性腎症への進歩した腎代替療法 —その標準化と個別化

Ⅲ 血液透析治療

春日井市民病院 院長
渡邊 有三

- 日本透析医学会雑誌：47巻5号 269~285, 2014

「維持血液透析の開始と継続に関する 意思決定プロセスについての提言」

春日井市民病院 院長
渡邊 有三

- 日本透析医学会雑誌：47巻5号 287~291, 2014

慢性透析患者の食事療法基準

中尾 俊之 (東京医科大学)
菅野 義彦 (東京医科大学)
長澤 康行 (兵庫医科大学)
金澤 良枝 (東京家政学院大学)
秋葉 隆 (東京女子医科大学)
佐中 孜 (江戸川病院)
渡邊 有三 (春日井市民病院 院長)
政金 生人 (矢吹病院)
友 雅史 (大分大学)
平方 秀樹 (福岡赤十字病院)
秋澤 忠男 (昭和大学)
水口 潤 (川島病院)

- 腎と透析：Vol.76 No.5 661~664, 2014

導入ガイドラインの基本的考え方

春日井市民病院 院長
渡邊 有三

- 腎と透析：Vol.76 増刊号 61～63, 2014

血液透析療法の特徴と適応

春日井市民病院 院長
渡邊 有三

- 日本病院会雑誌：第61巻7号 105, 2014

終末期医療を論ずる前に 必要なのは医学教育か？

春日井市民病院 院長
渡邊 有三

- 医学のあゆみ：Vol.250 No.13 1174～1178, 2014

高齢化社会における血液透析の 見合わせ

春日井市民病院 院長
渡邊 有三

- 日本透析医会雑誌：Vol.29 No.3 413～418, 2015

透析導入調査研究助成事業に 対する報告書 —平成24年度から平成25年度を振り返って—

春日井市民病院 院長
渡邊 有三

- Clinical and Experimental Nephrology :
Vol.18 (3) 339～423, 2014

Evidence-based Clinical Practice Guideline for CKD

Japanese Society of Nephrology

| | |
|----------|------------|
| K.Kimura | H.Okada |
| H.Imai | K.Tamura |
| S.Nishi | T.Wada |
| T.Fukui | Y.Watanabe |

- Therapeutic Apheresis and Dialysis : Vol.19
67～92, 2015

Japanese Society for Dialysis Therapy Clinical Guideline for “Maintenance Hemodialysis: Hemodialysis Prescriptions”

for “Maintenance Hemodialysis:
Hemodialysis Prescriptions” Guideline
Working Group, Japanese Society for
Dialysis Therapy

| | |
|-------------|-------------|
| Y.Watanabe | H.Kawanishi |
| K.Suzuki | S.Nakai |
| K.Tsuchida | K.Tabei |
| T.Akiba | I.Masakane |
| Y.Takemoto | T.Tomo |
| N.Itami | Y.Komatsu |
| M.Hattori | M.Mineshima |
| A.Yamashita | A.Saito |
| H.Naito | H.Hirakata |
| J.Minakuchi | |

- Therapeutic Apheresis and Dialysis : Vol.19
93~107, 2015

Japanese Society for Dialysis Therapy Clinical Guideline for “Hemodialysis Initiation for Maintenance Hemodialysis”

“Hemodialysis Initiation for Maintenance
Hemodialysis” Guideline Working Group,
Japanese Society for Dialysis Therapy.

| | |
|-------------------|-----------------------|
| <i>Y.Watanabe</i> | Kunihiro Yamagata |
| Shinichi Nishi | Hideki Hirakata |
| Norio Hanafusa | Chie Saito |
| Motoshi Hattori | Noritomo Itami |
| Yasuhiro Komatsu | Yoshindo Kawaguchi |
| Kazuhiko Tsuruya | Yoshiharu Tsubakihara |
| Kazuyuki Suzuki | Ken Sakai |
| Hideki Kawanishi | Daijo Inaguma |
| Hiroyasu Yamamoto | Yoshiaki Takemoto |
| Noriko Mori | Kazuyoshi Okada |
| Hiroshi Hataya | Takashi Akiba |
| Kunitoshi Iseki | Tadashi Tomo |
| Ikuto Masakane | Tadao Akizawa |
| Jun Minakuchi | |

- Therapeutic Apheresis and Dialysis : Vol.19
108~117, 2015

Proposal for the Shared Decision- Making Process Regarding Initiation and Continuation of Maintenance Hemodialysis

for the Japanese Society for Hemodialysis
Therapy Guideline Commission of
Maintenance Hemodialysis Investigation
Subgroup Commission on Withholding and
Withdrawal from Dialysis

| | |
|-------------------|--------------------|
| <i>Y.Watanabe</i> | Hideki Hirakata |
| Kazuyoshi Okada | Hiroyasu Yamamoto |
| Kazuhiko Tsuruya | Ken Sakai |
| Noriko Mori | Noritomo Itami |
| Daijo Inaguma | Kunitoshi Iseki |
| Akiko Uchida | Yoshindo Kawaguchi |
| Seiji Ohira | Masashi Tomo |
| Ikuto Masakane | Tadao Akizawa |
| Jun Minakuchi | |

- 医療と検査機器・試薬：第37巻 3号
343~346, 2014

特集（2）第49回POCセミナー 感染症シーズンに向かって ～もう準備はお済ですか 3.c.感染症装置の接続に求められる要件

春日井市民病院 臨床検査技術室
後藤 慎一

- 愛知県病院協会会報：第257号 8~9, 2014

QI（Quality Indicator）活動を 通じて感じること

春日井市民病院 院長
渡邊 有三

- Therapeutic Apheresis & Dialysis: Vol.18(2)
140~148, 2014

Impacts of recombinant human erythropoietin treatment during predialysis periods on the progression of chronic kidney disease in a large-scale cohort study (C0-JET Study).

T Akizawa, A Saito, F Gejyo, M Suzuki, Y Nishizawa, Y Tomino, Y Tsubakihara, T Akiba, H Hirakata, Y *Watanabe*, H Kawanishi, M Bessho, Y Udagawa, K Aoki, Y Uemura, Y Ohashi; Co-JET Study Group.

- Therapeutic Apheresis & Dialysis: Vol.18 (5)
404~413, 2014

Low hemoglobin levels and hypo-responsiveness to erythropoiesis-stimulating agents associated with poor survival in incident Japanese hemodialysis patients.

T Akizawa, A aito, F Gejyo, M Suzuki, Y Nishizawa, Y Tomino, Y Tsubakihara, T Akiba, H Hirakata, Y *Watanabe*, H Kawanishi, M Bessho, Y Udagawa, K Aoki, Y Uemura, Y Ohashi; JET Study Group.

- Therapeutic Apheresis and Dialysis :
Vol.18 (6) 535~602, 2014

**An Overview of regular dialysis treatment in Japan
(as of 31 December 2012).**

S Nakai, N Hanafusa, I Masakane, MTaniguchi, T Hamano, T Shoji, T Hasegawa, N Itami, K Yamagata, T Shinoda, J Kazama, Y *Watanabe*, T Shigematsu, S Marubayashi, O Morita, A Wada, S Hashimoto, K Suzuki, H Nakamoto, N Kimata, K Wakai, N Fujii, S Ogata, K Tsuchida,

H Nisihi, K Iskei, Y Tsubakihara; Committee of Renal Data Registry, Japanese Society for Dialysis Therapy

- 中部日本整形外科災害外科学会雑誌 : Vol.57 (4)
787~788, 2014

血小板薬内服患者の大腿骨近位部骨折における腰椎麻酔による早期手術と硬膜外血腫の関係

春日井市民病院 整形外科
柴田 淳 鈴木 浩之 平出 隆将
山田 宏毅 泉田 誠

- 中部日本整形外科災害外科学会雑誌 : Vol.57 (5)
1187~1188, 2014

上腕骨近位端骨折後に腋窩動脈瘤をきたした1例

春日井市民病院 整形外科
山田 宏毅 鈴木 浩之 泉田 誠
平出 隆将 柴田 淳

- 日本褥瘡学会誌 : Vol.17 (1) 31~38, 2015

リウマチ性多発筋痛症との鑑別が困難であった感染を伴った褥瘡の1例

春日井市民病院 形成外科
菱田 雅之

- Internatinal Journal of Surgery : Vol.18 41~47, 2015

Does a muscle flap accelerate wound healing of gastric wall defects compared with an omental flap?

M Hishida (Plastic and Reconstructive Surgery, Kasugai Munipal Hospital)
K Toriyama, S Yagi, K Ebisawa, T Morishita, K Takanari, Y Kamei(Plastic and Reconstructive Surgery, Nagoya University Graduate School of medicine)

- 日本集中治療医学会雑誌：Vol.21 (4)
337~340, 2014

選択的血漿交換により治療した 中毒性表皮壊死症の一例

春日井市民病院 麻酔科
高橋 利通 森田 麻紀 近藤 俊樹
木村 怜史

- 日本口腔科学会雑誌：Vol.63 (4) 305~310, 2014

広範囲進展口腔癌に対して 血流改変術を併用した従来型の 選択的動注化学・放射線療法が 有効であった1例

春日井市民病院 口腔外科
脇田 壮 丹下 和久 中島 克仁
蟹江 一泰 水野 頌也

- 日本口腔科学会雑誌：Vol.64 (1) 32~40, 2015

Stage III・IV症例の口腔癌に対して 新技法を用いた放射線併用超選択的 動注化学療法の治療成績 —カテーテル先端位置の調整と血流改変術との併用—

春日井市民病院 口腔外科
丹下 和久 中島 克仁 北島正一郎
脇田 壮 中山 敦史 福田 幸太

- 医薬品情報学：Vol.16 (2) 81~89, 2014

独立行政法人医薬品医療機器総合機構 の医薬品副作用データベースを 簡便に利用するための アプリケーションの開発

春日井市民病院 薬剤部
坂田 洋 稲垣由加利 中崎みづき
名城大学 薬学部 医薬品情報学研究室
大津 文子 後藤 伸之

- 月刊薬事：Vol.56 (6) 112~114, 2014

適応拡大クローズアップ デノスマブ（遺伝子組換え）注

春日井市民病院 薬剤部
坂田 洋

- Histopathology：Vol.66 (2) 300~307, 2015

Micronodular thymoma with lymphoid stroma: an immunohistochemical study of the distribution of Langerhans cells and mature dendritic cells in six patients

Y Ishikawa (Department of Thoracic
Surgery, Nagoya University Graduate
School of Medicine, Nagoya, Department of
Pathology)

H Tateyama (Department of Pathology, Clinical
Laboratory, Kasugai Municipal Hospital)

M Yoshida (Department of Pathology, Clinical
Laboratory, Kasugai Municipal Hospital)

K Takami (Department of Thoracic Surgery,
National Hospital Organization Osaka
Medical Centre)

H Matsuguma (Division of Thoracic Surgery,
Tochigi Cancer Centre, Utsunomiya)

T Taniguchi (Department of Thoracic
Surgery, Nagoya University Graduate
School of Medicine, Nagoya, Department of
Pathology)

N Usami (Department of Thoracic Surgery,
Nagoya University Graduate School of
Medicine, Nagoya, Department of Pathology)

K Kawaguchi (Department of Thoracic
Surgery, Nagoya University Graduate
School of Medicine, Nagoya, Department of
Pathology)

T Fukui (Department of Thoracic Surgery,
Nagoya University Graduate School of
Medicine, Nagoya, Department of Pathology)

F Ishiguro (Department of Thoracic Surgery,
Nagoya University Graduate School of

Medicine, Nagoya, Department of Pathology)
S Nakamura (Department of Thoracic Surgery, Nagoya University Graduate School of Medicine, Nagoya, Department of Pathology)

K Yokoi (Department of Thoracic Surgery, Nagoya University Graduate School of Medicine, Nagoya, Department of Pathology)

- The Annals of Thoracic Surgery: Vol.97 (5) 1743~1748, 2014

Thymoma patients with pleural dissemination: nationwide retrospective study of 136 cases in Japan

K Okuda (Department of Oncology, Immunology and Surgery, Nagoya City University Graduate School of Medical Science, Nagoya, Department of General Thoracic Surgery)

M Yano (Graduate School of Medicine, Chiba University, Chiba, Department of General Thoracic Surgery)

I Yoshino (Osaka University Graduate School of Medicine, Department of Thoracic Surgery)

M Okumura (Osaka Medical Center for Cancer and Cardiovascular Diseases, Osaka, Division of General Thoracic Surgery)

M Higashiyama (Osaka Medical Center for Cancer and Cardiovascular Diseases, Osaka, Division of General Thoracic Surgery)

K Suzuki (Juntendo University School of Medicine, Tokyo, Division of Thoracic and Cardiovascular Surgery)

M Tsuchida (Niigata, Department of Thoracic Surgery)

J Usuda (Nippon Medical School)

H Tateyama (Department of pathology, Kasugai Municipal Hospital)

- 臨床病理：第63巻 2号 232~237, 2015

検体測定室における品質管理のためのIT活用—POCT装置の場合—

春日井市民病院 臨床検査技術室

後藤 慎一

- 全国自治体病院協議会雑誌：第53巻, 2014

急性期自治体病院における退院調整実績から見える今後の患者の動向

春日井市民病院 看護局

田辺 圭子

国際学会

●内科

| 学会名／演題 | 氏名 | 日付／場所 |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------|-------------------------|
| The 14th Asian Pacific Congress of Nephrology EFFICACY AND SAFETY OF FLUOROSCOPIC MANIPULATION USING THE ALPHA-REPLACER FOR PERITONEAL CATHETER MALPOSITION | 坂 洋祐 | 2014年5月15日～17日 東京 |
| The 15th Congress of International Society for Peritoneal Dialysis Madrid ZINC DEFICIENCY IS ASSOCIATED WITH INADEQUATE PROTEIN INTAKE IN PERITONEAL DIALYSIS PATIENTS | 坂 洋祐 | 2014年9月7日～12日 スペイン |
| アメリカ腎臓学会総会 The Relationship Between Red Blood Cell Distribution Width (RDW) and the Resistance to Erythropoiesis-Stimulating Agents (ESA) | 成瀬 友彦 | 2014年11月11日～18日 アメリカ |

全国学会

●内科

| 学会名／演題 | 氏名 | 日付／場所 |
|------------------------------------------------------------------------|-------|----------------------|
| 第87回日本内分泌学会総会 30年間難治性潰瘍を繰り返し巨大副甲状腺腫瘍を認めたMEN1型の症 例 | 岡田由紀子 | 2014年4月25日～26日 福岡 |
| 第57回日本糖尿病学会年次学会 75歳以上の高齢者のインスリン治療状況を調査し臨床現場で問題点 を予測する | 岡田由紀子 | 2014年5月23日 大阪 |
| 第59回日本透析医学会学会集會・総会 血液透析患者におけるRDWとESA抵抗性、予後との関連 | 成瀬 友彦 | 2014年6月12日～14日 兵庫 |
| 第59回日本透析医学会学会集會・総会 透透析関連低血圧に関連する因子の検証 | 坂 洋祐 | 2014年6月12日～14日 兵庫 |
| 第59回日本透析医学会学会集會・総会 血漿交換にて症状改善をみた遺伝性圧脆弱性ニューロパチーの一例 | 古賀 俊充 | 2014年6月12日～14日 兵庫 |
| 第59回日本透析医学会学会集會・総会 透析導入期の $\beta 2$ ミクログロブリン値に及ぼす背景因子 ～AICOPP研究～ | 山下 良子 | 2014年6月13日～14日 兵庫 |
| 第57回日本腎臓学会学会集會 透析導入時の血清Cl濃度が低いCKD患者は緊急導入が多い | 坂 洋祐 | 2014年7月4日～5日 神奈川 |
| 第20回日本腹膜透析医学会学会集會・総会 PD導入後6ヶ月時点の管理状況と予後の検討～貧血管理を中心に～ | 成瀬 友彦 | 2014年9月5日～7日 山形 |
| 第20回日本腹膜透析医学会学会集會・総会 ダプトマイシンにて改善を認めた腹部感染症の2例 | 横江 優貴 | 2014年9月5日～7日 山形 |
| 第44回日本腎臓病西部学会大会 当院における糖尿病患者の腎生検にて非糖尿病性腎症であった5例 の検討 | 唐澤 宗稔 | 2014年10月3日～4日 兵庫 |

| 学会名／演題 | 氏名 | 日付／場所 |
|---------------------------------------------------------------------|-------|---------------------|
| 第44回日本腎臓病西部学術大会 当院における高Ca血症患者の検査値による原疾患の違いと、原疾患が腎機能に与える影響についての検討 | 谷口 容平 | 2014年10月3日～4日 兵庫 |

●神経内科

| 学会名／演題 | 氏名 | 日付／場所 |
|-------------------------------------------------------|-------|----------------------|
| 第55回日本神経学会学術大会 脳梗塞t-PA治療は発症4.5時間後の適応になってもその効果に差はない | 遠藤 利洋 | 2014年5月20日～23日 福岡 |
| 第40回日本脳卒中学会総会 脳梗塞t-PA静注療法：発症時刻からみた治療成績の検討 | 遠藤 利洋 | 2015年3月25日～26日 広島 |
| 第40回日本脳卒中学会総会 脳梗塞t-PA静注療法における発症年齢からみた検討 | 鳥居 良太 | 2015年3月25日～28日 広島 |

●呼吸器科

| 学会名／演題 | 氏名 | 日付／場所 |
|-----------------------------------------------------------|------|------------------|
| 第26回日本アレルギー学会春季臨床大会 ASK20を用いた喘息患者とCOPD患者におけるアドヒアランスの評価 | 岩田 晋 | 2014年5月10日 京都 |

●消化器科

| 学会名／演題 | 氏名 | 日付／場所 |
|--------------------------------------------------------------------------|-------|-----------------------|
| 第56回日本消化器病学会大会 当院における大腸憩室出血の現状と造影CTの有用性 | 杉山 智哉 | 2014年10月22日～23日 兵庫 |
| 第88回日本消化器内視鏡学会総会 胆管挿入困難例に対し膝管ガイドワイヤー下に通常型パピロトミーナイフを用いた乳頭precuttingの試み | 池内 寛和 | 2014年10月23日～25日 兵庫 |
| 第88回日本消化器内視鏡学会総会 当院における高齢者に対する胃ESDの検討 | 羽根田賢一 | 2014年10月25日 兵庫 |
| 第11回日本消化管学会総会学術集会 バルーン拡張術を要した直腸LSTのESD後狭窄の1例 | 木村 幹俊 | 2015年2月13日～14日 東京 |

●循環器科

| 学会名／演題 | 氏名 | 日付／場所 |
|---------------------------------------------------------------------|-------|----------------------|
| 第111回日本内科学会総会・講演会 ST上昇型急性心筋梗塞に対する初期対応医が循環器医に連絡するまでの時間に関与する因子について | 寺沢 彰浩 | 2014年4月12日～13日 東京 |
| 第62回日本心臓病学会学術集会 StanfordB型急性大動脈解離に対する早期離床リハビリテーションについて | 滝川 智信 | 2014年9月26日～28日 宮城 |

●小児科

| 学会名／演題 | 氏名 | 日付／場所 |
|-------------------------------------------------------|-------|-----------------------|
| 第117回日本小児科学会 内視鏡生検が鑑別診断に有用であった腹部症状のみのアレルギー性紫斑病の小児例 | 木野村依子 | 2014年4月11日～13日 名古屋 |
| 第46回日本小児感染症学会総会・学術集会 プロカルシトニン高値を呈した78例の検討 | 星野 伸 | 2014年10月18日～19日 東京 |

| 学会名／演題 | 氏名 | 日付／場所 |
|----------------------------------------------------------|-------|-----------------------|
| 第56回日本小児血液・がん学会学術集会 血小板減少の判明から8ヶ月を経てAML（M7）と診断した1歳男児例 | 河邊太加志 | 2014年11月28日～30日 岡山 |

●外科

| 学会名／演題 | 氏名 | 日付／場所 |
|--------------------------------------------------------------------------|-------|-----------------------|
| 第114回日本外科学会定期学術集会 肝硬変合併肝腫瘍に対する腹腔鏡下肝切除の検討 | 山口 竜三 | 2014年4月3日～5日 京都 |
| 第114回日本外科学会定期学術集会 当院における門脈ガス血症の検討 | 山本 泰資 | 2014年4月3日～5日 京都 |
| 第114回日本外科学会定期学術集会 大腸穿孔例に対する術後の血液浄化療法の有効性についての検討 | 山中 美歩 | 2014年4月3日～4日 京都 |
| 第26回日本肝胆膵外科学会・学術集会 拡大肝切除術前処置としての審査腹腔鏡および腹腔鏡補下門脈塞栓術 | 渡邊 真哉 | 2014年6月11日～13日 和歌山 |
| 第26回日本肝胆膵外科学会・学術集会 長期無再発生存中のstageIVb膵頭部腺扁平上皮癌の1切除例 | 中橋 剛一 | 2014年6月11日～13日 和歌山 |
| 第22回日本乳癌学会学術総会 乳癌との鑑別を要した乳腺炎症性疾患の5例 | 古田 美保 | 2014年7月10日～12日 大阪 |
| 第69回日本消化器外科学会総会 亜全胃温存膵頭十二指腸切除・Child変法再建後に輸出脚の屈曲により再手術をした腸回転異常を伴う膵癌の1例 | 笹本 彰紀 | 2014年7月15日～18日 福島 |
| 第12回日本臨床腫瘍学会学術集会 Trastuzumab併用化学療法が著効した乳癌原発癌性心膜炎合併2症例の検討 | 古田 美保 | 2014年7月16日～19日 福岡 |
| 第52回日癌治療学会学術集会 乳がん地域連携クリニカルパスの導入と運用、今後の課題 | 古田 美保 | 2014年8月28日～30日 神奈川 |
| 第15回日本クリニカル学会学術集会 緩和ケアはパスとなりうるか（患者アウトカム志向で解決） | 會津 恵司 | 2014年11月13日～15日 福井 |
| 第76回日本臨床外科学会総会 膵頭十二指腸切除術後の在院日数短縮のための試み | 山口 竜三 | 2014年11月20日～22日 福島 |
| 第76回日本臨床外科学会総会 予定手術前の当直（緊急呼び出しを含む）の免除の取り組み | 會津 恵司 | 2014年11月20日～22日 福島 |
| 第76回日本臨床外科学会総会 大腸癌肝転移切除例の治療成績と残肝再発に対する再肝切除術の意義 | 中橋 剛一 | 2014年11月20日～22日 福島 |
| 第76回日本臨床外科学会総会 急性輸入脚症候群に対する経皮的輸入脚減圧ドレナージの有用性 | 湯川 貴史 | 2014年11月20日～22日 福島 |

●整形外科

| 学会名／演題 | 氏名 | 日付／場所 |
|------------------------------------------------------------------------|-------|----------------------|
| 第122回中部日本整形外科災害外科学会・学術集会 上腕骨近位端骨折後に腋窩動脈瘤をきたした1例 | 山田 宏毅 | 2014年4月11日～12日 岡山 |
| 第122回中部日本整形外科災害外科学会・学術集会 抗血小板薬内服患者の大腿骨近位部骨折における腰椎麻酔による早期手術と硬膜外血腫の関係 | 柴田 淳 | 2014年4月11日～12日 岡山 |
| 第40回日本骨折治療学会 大腿骨転子部骨折に対する髓内釘での骨接合術後合併症例の検討 | 鈴木 浩之 | 2014年6月26日～28日 熊本 |

| 学会名／演題 | 氏名 | 日付／場所 |
|--------------------------------------------------------|-------|-----------------------|
| 第40回日本骨折治療学会 踵骨骨折に対し骨接合術後Incisional NPWTを施行した3例 | 柴田 淳 | 2014年6月26日～28日 熊本 |
| 第40回日本骨折治療学会 両側上腕骨小結節骨折の1例 | 山田 宏毅 | 2014年6月26日～28日 熊本 |
| 第39回日本足の外科学会・学術集会 両側同時に発症した足関節果部骨折 AO 44 TypeC の一例 | 鈴木 浩之 | 2014年11月12日～15日 宮崎 |
| 第39回日本足の外科学会・学術集会 踵骨骨折骨接合術後、Incisional NPWT を施行した3例 | 松澤 良 | 2014年11月12日～14日 宮崎 |
| 第39回日本足の外科学会・学術集会 足部発症の慢性再発性多発性骨髄炎の1例 | 福田 俊嗣 | 2014年11月12日～14日 宮崎 |

●リハビリテーション科

| 学会名／演題 | 氏名 | 日付／場所 |
|------------------------------------------------------------------------|-------|----------------------|
| 第122回中部日本整形外科学会災害外科学会・学術集会 高齢者下腿開放性骨折の2例 | 鈴木 浩之 | 2014年4月11日～12日 岡山 |
| 第57回日本手外科学会学術集会・第20回春期教育研修会 指骨変形、骨端線部分閉鎖をきたしたmicrogeodic diseaseの1例 | 久保田雅仁 | 2014年4月16日～19日 沖縄 |

●脳神経外科

| 学会名／演題 | 氏名 | 日付／場所 |
|----------------------------------------------|-------|----------------------|
| 第40回日本脳卒中学会総会 急性期くも膜下出血のよりよい治療成績を求めるための課題 | 内藤 丈裕 | 2015年3月26日～28日 広島 |

●産婦人科

| 学会名／演題 | 氏名 | 日付／場所 |
|-----------------------------------------------------|-------|-----------------------|
| 第66回日本産婦人科学会学術講演会 分娩時の会陰切開創に発症した壊疽性膿皮症の一例 | 佐々木裕子 | 2014年4月17日～20日 東京 |
| 第52回日本癌治療学会学術集会 当院における初期子宮頸癌に対する広汎子宮全摘術後の予後と妊娠転帰 | 玉内 学志 | 2014年8月28日～30日 神奈川 |

●耳鼻いんこう科

| 学会名／演題 | 氏名 | 日付／場所 |
|---------------------------------------------------|-------|----------------------|
| 第76回耳鼻咽喉科臨床学会総会・学術講演会 術前細胞診にて悪性が疑われた幼児耳下部腫瘍の1例 | 三好 晋平 | 2014年6月25日～27日 岩手 |

●歯科口腔外科

| 学会名／演題 | 氏名 | 日付／場所 |
|----------------------------------------------------------------------------|-------|----------------------|
| 第68回NPO法人日本口腔科学会学術集会 超選択的動注化学療法を施行した口腔癌患者の治療終了後の審美・機能障害について | 丹下 和久 | 2014年5月7日～9日 東京 |
| 日本頭頸部癌学会主催第5回教育セミナー・第38回日本頭頸部癌学会 超選択的動注化学療法を施行した片側舌癌の反対側よりの血流の関与についての検討 | 丹下 和久 | 2014年6月11日～13日 東京 |

| 学会名／演題 | 氏名 | 日付／場所 |
|---------------------------------------------------------------------|-------|-----------------------|
| 第59回日本口腔外科学会総会・学術大会 口腔癌に対する動注化学療法による顔面動脈領域の皮膚の色素減少についての検討 | 丹下 和久 | 2014年10月16日～19日 千葉 |
| 第59回日本口腔外科学会総会・学術大会 当科でのDSA装置を用いた鎖骨下静脈穿刺法 | 中島 克仁 | 2014年10月17日～19日 千葉 |
| 第33回日本口腔腫瘍学会総会・学術大会及び第3回教育研修会 認知症を有する口腔癌患者に対しての超選択的動注化学放射線療法について | 丹下 和久 | 2015年1月29日～31日 奈良 |

●血管内治療センター

| 学会名／演題 | 氏名 | 日付／場所 |
|-------------------------------------------------------------------|-------|-----------------------------|
| 第42回日本血管外科学会学術集会 腹腔動脈解離発症後に十二指腸周囲後腹膜出血、腹腔動脈の瘤化をきたしたが保存的に軽快した一例 | 藤田 広峰 | 2014年5月21日～23日 青森 |
| 第55回日本脈管学会総会 EVAR術後タイプIIエンドリーク治療の際エンドリーク血行動態を評価しえた一例 | 井原 努 | 2014年10月30日 ～11月1日 岡山 |

●薬剤部

| 学会名／演題 | 氏名 | 日付／場所 |
|-------------------------------------------------------------------------------|-------|-----------------------|
| 第19回日本緩和医療学会学術大会 疼痛を有する死期がせまったがん患者に対するオピオイド製剤投与に関する後方視的検討 | 前田 剛司 | 2014年6月20日～21日 兵庫 |
| 医療薬学フォーラム2014/第22回クリニカルファーマシーシンポジウム 抗EGFR抗体薬投与患者におけるCDTMを取り入れた薬剤師の取り組みについて | 鈴木 敦詞 | 2014年6月27日～29日 東京 |
| 医療薬学フォーラム2014/第22回クリニカルファーマシーシンポジウム PEG導入前の絶食期間と導入後の排便回数調査 | 田中 伸明 | 2014年6月27日～29日 東京 |
| 医療薬学フォーラム2014/第22回クリニカルファーマシーシンポジウム PMDA副作用自発報告を利用した安全性速報発出前後の副作用発生状況調査 | 奥田 ユミ | 2014年6月27日～29日 東京 |
| 医療薬学フォーラム2014/第22回クリニカルファーマシーシンポジウム 市中肺炎入院患者における入院初期抗菌薬使用状況調査へのDPCデータの利用 | 栗本 夕夏 | 2014年6月27日～29日 東京 |
| 第22回日本乳癌学会学術総会 再発乳癌に対するエリブリンによる化学療法 | 前田 剛司 | 2014年7月10日～12日 大阪 |
| 第17回日本医薬品情報学会 院内RMP策定へのPMDA副作用自発報告の活用 | 川村まりこ | 2014年7月12日～13日 鹿児島 |
| 第12回日本臨床腫瘍学会学術集会 パニツムマブ単独療法における電解質異常の発現に関する検討 | 前田 剛司 | 2014年7月16日～19日 福岡 |
| 第52回日癌治療学会学術集会 抗EGFR抗体薬投与患者におけるCDTMおよび皮膚粘膜障害に対する薬剤師の関わりについて | 鈴木 敦詞 | 2014年8月28日～30日 神奈川 |
| 第24回日本医療薬学会年会 春日井市民病院における高カリウム血症入院患者の背景調査 | 田中 伸明 | 2014年9月27日～28日 名古屋 |

| 学会名／演題 | 氏名 | 日付／場所 |
|-----------------------------------------------------------------------------|-------|-----------------------|
| 第24回日本医療薬学会年会 薬薬連携を目的とした研修会受講後の薬剤師の意識調査 | 鈴木 大吾 | 2014年9月27日～28日 名古屋 |
| 第24回日本医療薬学会年会 ビッグデータと疫学が切り拓く新しいエビデンス—大規模副作用自 発報告データベースの活用（JADER事例） | 坂田 洋 | 2014年9月28日 名古屋 |
| 第8回日本緩和医療薬学会年会 疼痛を有する死期がせまったがん患者に対するレスキュー剤投与に 関する後方視的検討 | 前田 剛司 | 2014年10月3日～5日 香川 |
| 第8回日本緩和医療薬学会年会 フェンタニルテープへオピオイドローテーションする際の血清アル ブミン値による換算量について | 鈴木 大吾 | 2014年10月3日～5日 香川 |
| 第8回日本緩和医療薬学会年会 PEGからのモルヒネ徐放性製剤投与で在宅療養が可能となった1症例 | 鈴木 敦詞 | 2014年10月3日～5日 香川 |
| 第8回日本腎臓病薬物療法学会学術集会・総会2014 メトホルミン塩酸塩の腎機能に応じた投与量の情報提供とその評価 | 大岩 拓馬 | 2014年10月12日～13日 大阪 |
| 第3回日本くすりと糖尿病学会学術集会 自発報告副作用データベースを利用したDPP-4阻害薬と他の経口糖尿 病薬併用時の低血糖報告リスク調査 | 坂田 洋 | 2014年11月1日～3日 福岡 |
| 第3回日本くすりと糖尿病学会学術集会 グラルギン2回投与からデグルデク1回投与への切り替えに関する 有用性の検討（第1報） | 服部 芳明 | 2014年11月1日～3日 福岡 |
| 第3回日本くすりと糖尿病学会学術集会 春日井市民病院における低血糖入院患者の患者背景調査 | 田中 伸明 | 2014年11月1日～3日 福岡 |

●臨床検査技術室

| 学会名／演題 | 氏名 | 日付／場所 |
|-------------------------------------------------------|-------|-----------------------|
| 第63回日本医学検査学会 当院での輸血指導と教育について | 鈴木 博子 | 2014年5月16日～18日 新潟 |
| 第57回日本糖尿病学会年次学術集会 当院における2型糖尿病患者の摂取塩分量の現状 | 後藤 慎一 | 2014年5月22日～24日 大阪 |
| 第22回日本乳癌学会学術総会 一側多発DCISの1例 | 加藤 浩 | 2014年7月10日～12日 大阪 |
| 日本臨床検査自動化学会第46回大会 糖尿病診療における診療支援システムの構築について | 後藤 慎一 | 2014年10月9日～11日 兵庫 |
| 第55回日本脈管学会総会 遺残坐骨動脈の診断追跡に超音波検査が有用であった1例 | 加藤真由美 | 2014年10月30日～31日 岡山 |
| 第61回日本臨床検査医学会学術集会 in 福岡 糖尿病領域における診療支援 —疾患管理マップの活用— | 後藤 慎一 | 2014年11月23日～24日 福岡 |

●臨床工学技術室

| 学会名／演題 | 氏名 | 日付／場所 |
|--------------------------------------------------------------------------------------------|-------|---------------------|
| 第24回日本臨床工学技士学会及び平成26年度公益社団法人日本臨床工 学技士総会 HCV陽性クリオグロブリン血症に対してクライオフィルトレーション を経験した1症例 | 中嶋 浩詞 | 2014年5月9日～11日 宮城 |

| 学会名／演題 | 氏名 | 日付／場所 |
|-------------------------------------------------------------|-------|----------------------|
| 第24回日本臨床工学技士学会及び平成26年度公益社団法人日本臨床工学技士総会 医療機器の適正保有台数に関する検討 | 重松 恭一 | 2014年5月10日 宮城 |
| 第59回日本透析医学会学術集会・総会 リスクチャートを用いた患者管理 | 山中 里紗 | 2014年6月13日～15日 兵庫 |

●リハビリテーション技術室

| 学会名／演題 | 氏名 | 日付／場所 |
|---------------------------------------------------|------|----------------------------|
| 第49回日本理学療法学会学術大会 人工膝関節置換術施行患者の身体活動量と生活空間の継時的変化 | 中崎 亨 | 2014年5月30日 ～6月1日 神奈川 |
| 第49回日本理学療法学会学術大会 消化器外科術後患者のせん妄と離床進行程度との関係 | 山下 裕 | 2014年5月30日 ～6月1日 神奈川 |
| 第15回日本クリニカル学会学術集会 周術期リハビリテーションクリニカルパスの運用と検証 | 山下 裕 | 2014年11月14日～15日 福井 |

●看護局

| 学会名／演題 | 氏名 | 日付／場所 |
|------------------------------------------------------------------------------------|-------|-----------------------|
| 第16回日本医療マネジメント学会学術総会 急性期病院における院内外専門職ワークショップの効果的な方法の一考察 | 田辺 圭子 | 2014年6月13日～14日 岡山 |
| 第16回日本医療マネジメント学会学術総会 退院支援を行う上での重要点～退院後の自宅訪問を通して～ | 薬師寺有華 | 2014年6月13日～14日 岡山 |
| 第11回日本口腔ケア学会総会・学術大会 ICUでのオーラルケアにおける他職種連携がもたらす看護師への影響 | 河合 豊 | 2014年6月27日～29日 北海道 |
| 第16回日本褥瘡学会学術集会 手術後にICUで観察されたMedical device related pressure ulcerの発症と関連因子に関する研究 | 兒玉 康明 | 2014年8月29日～30日 名古屋 |
| 第20回日本腹膜透析医学会学術集会・総会 腎代替療法選択外来の充実を目指して | 奴賀 美保 | 2014年9月6日～7日 山形 |
| 第20回日本腹膜透析医学会学術集会・総会 超高齢者への腹膜透析導入を経験して | 中道 朝恵 | 2014年9月6日～7日 山形 |
| 第16回日本看護医療学会学術集会 クリニカルリーダーナース（院内認定資格）導入への試み | 伊藤みどり | 2014年9月13日 京都 |
| 日本看護学会—看護管理— 途中採用看護師の定着にむけた支援—組織再社会化をふまえて— | 田垣美紀子 | 2014年9月24日～26日 宮崎 |
| 第53回全国自治体病院学会 in 宮崎 退院調整における倫理的課題 | 林 祐里子 | 2014年10月29日～31日 宮崎 |
| 第53回全国自治体病院学会 in 宮崎 退院調整看護師のファシリテーションの習得過程 | 幡野 由紀 | 2014年10月29日～31日 宮崎 |
| 第15回日本クリニカル学会学術集会 外来から始める術前オリエンテーション | 細野美穂子 | 2014年11月14日～15日 福井 |
| 第40回日本脳卒中学会総会 自発性低下に対する嗜好品摂取によるアプローチ | 清原 達観 | 2015年3月25日～27日 広島 |

| 学会名／演題 | 氏名 | 日付／場所 |
|----------------------------------------------|-------|----------------------|
| 第40回日本脳卒中学会総会 座位バランスの向上を目指した腹臥位・用手微振動の実践 | 野村 和矢 | 2015年3月25日～27日 広島 |
| 第29回日本助産学会学術集会 硬膜外麻酔による無痛分娩をした女性の育児期までの体験 | 戎谷 明恵 | 2015年3月28日～29日 東京 |

地方学会・研究会

●内科

| 学会名／演題 | 氏名 | 日付／場所 |
|-------------------------------------------------------|-------|-------------------|
| Medical Intelligence alliance 不妊治療で燃えつきた糖尿病合併妊娠の1例 | 岡田由紀子 | 2015年1月30日 名古屋 |
| 第23回東海腹膜透析研究会 地域連携を利用した高齢者の腹膜透析への取り組み | 山下 良子 | 2015年2月15日 名古屋 |
| SGLT2阻害薬の使い方を考える会 SGLT2阻害薬の効果と安全性 | 岡田由紀子 | 2015年3月11日 春日井 |

●神経内科

| 学会名／演題 | 氏名 | 日付／場所 |
|-------------------------------------------------------------------------|-------|------------------|
| 第139回日本神経学会東海・北陸地方会 特異な画像所見を伴った、非ケトン性高血糖症による非痙攣性てんかん重積状態を呈した1型糖尿病の1例 | 中藪 幹也 | 2014年7月5日 名古屋 |
| 第141回日本神経学会東海・北陸地方会 脳梗塞t-PA治療における院内処置時間に関する検討 | 遠藤 利洋 | 2015年3月7日 名古屋 |
| 第139回日本神経学会東海・北陸地方会 超高齢者における脳梗塞t-PA治療の検討 | 鳥居 良太 | 2014年7月5日 名古屋 |

●消化器科

| 学会名／演題 | 氏名 | 日付／場所 |
|--------------------------------------------------------------|-------|-------------------|
| 日本消化器病学会東海支部第120回例会 Infliximab投与により薬剤誘発性ループスをきたしたクローン病の1例 | 森川 友裕 | 2014年6月14日 岐阜 |
| 第57回日本消化器内視鏡学会東海支部例会 出血病態別にみた原因不明消化管出血の検討 | 杉山 智哉 | 2014年9月6日 名古屋 |
| 第57回日本消化器内視鏡学会東海支部例会 ERCP関連手技における胆管深部挿管困難例にたいしての当院での工夫 | 池内 寛和 | 2014年9月6日 名古屋 |
| 第57回日本消化器内視鏡学会東海支部例会 内視鏡的大腸EMR後に敗血症を来した1例 | 隈井 大介 | 2014年9月6日 名古屋 |
| 日本消化器病学会東海支部121回例会 術前ダブルバルーン内視鏡にて出血源を特定できた空腸消化管重複症の1例 | 奥田 悠介 | 2014年12月6日 名古屋 |

●循環器科

| 学会名／演題 | 氏名 | 日付／場所 |
|-----------------------------------------------------------|------|--------------------|
| 日本循環器学会第144回東海・第129回北陸合同地方会 末梢血好酸球増加がみられなかった好酸球性心筋炎の1例 | 墨 卓哉 | 2014年10月24日 名古屋 |

●小児科

| 学会名／演題 | 氏名 | 日付／場所 |
|------------------------------------------------------------|-------|--------------------|
| 第261回日本小児科学会東海地方会 大腸ポリープの脱落により大量下血を来した一例 | 隈井 大介 | 2014年5月18日 長久手 |
| 第262回日本小児科学会東海地方会 繰り返す気胸を契機に診断しえた血管型Ehlers-Danlos症候群の1例 | 石黒 智紀 | 2014年10月5日 豊明 |
| 第263回日本小児科学会東海地方会 吸気性喘鳴の急激な増悪があり緊急手術を要した中縦隔の気管支原性嚢胞の乳児例 | 西尾 太郎 | 2015年2月1日 名古屋 |
| 第10回小牧春日井小児科懇話会 小児尿路感染症急性期におけるMRI画像の検討 | 宮地 悠江 | 2014年8月2日 小牧 |
| 第58回成長ホルモン研究会 神経性食思不振症の14歳女子の内分泌学的検証 | 星野 伸 | 2014年10月11日 名古屋 |
| 第11回小牧春日井小児科懇話会 当院において日常小児科診療の中2014年に見つかった脳腫瘍の2例 | 田中真己人 | 2015年2月21日 春日井 |

●外科

| 学会名／演題 | 氏名 | 日付／場所 |
|----------------------------------------------------------------|-------|--------------------|
| 第287回東海外科学会 当院におけるMeckel憩室関連の急性腹症手術の検討 | 田口瑠美子 | 2014年4月29日 名古屋 |
| 第287回東海外科学会 ペバシズマブ併用化学療法中に増大・破裂した腹部大動脈瘤に対するステントグラフト内挿術の1例 | 湯川 貴史 | 2014年4月29日 名古屋 |
| 第287回東海外科学会 緊急手術を施行した十二指腸GISTの1例 | 高原 邦彦 | 2014年4月29日 名古屋 |
| 第287回東海外科学会 膵腺扁平上皮癌4切除例の検討 | 中橋 剛一 | 2014年4月29日 名古屋 |
| 東海肝臓外科懇話会 静脈血栓症を合併した結腸癌同時性巨大肝転移症例へのペバシズマブ併用化学療法 | 中橋 剛一 | 2014年8月9日 名古屋 |
| 第288回東海外科学会 術前に部分的脾動脈塞栓術を施行した、肝硬変による白血球・血小板減少を伴う肝細胞癌の1例 | 山中 美歩 | 2014年10月19日 三重 |
| 第288回東海外科学会 巨大な食道腺様嚢胞癌の1例 | 山本 友輝 | 2014年10月19日 名古屋 |
| 肝胆膵治療研究会 腹腔鏡下に腹腔内審査と門脈右枝塞栓術を施行した 十二指腸・肝十二指腸間膜浸潤を呈した胆嚢癌の1切除例 | 伊藤 哲 | 2014年4月29日 名古屋 |

●整形外科

| 学会名／演題 | 氏名 | 日付／場所 |
|-----------------------------------------------|-------|--------------------|
| 第237回整形外科集談会東海地方会 両足関節果部骨折TypeCの1例 | 大久保徳雄 | 2014年9月20日 名古屋 |
| 第57回東海外傷研究会 下腿骨骨折に対するLocking機構を有する髓内釘の使用経験 | 松澤 良 | 2014年10月11日 名古屋 |

| 学会名／演題 | 氏名 | 日付／場所 |
|---------------------------------|-------|--------------------|
| 第57回東海外傷研究会 両足関節果部骨折TypeCの1例 | 大久保徳雄 | 2014年10月11日 名古屋 |

●形成外科

| 学会名／演題 | 氏名 | 日付／場所 |
|--------------------------------------------|-------|------------------|
| 第11回日本褥瘡学会中部地方会学術集会 軟膏処置における均一な軟膏量塗布の試み | 菱田 雅之 | 2015年3月8日 名古屋 |
| 第11回日本褥瘡学会中部地方会学術集会 褥瘡チームにおけるコメディカルの役割 | 菱田 雅之 | 2015年3月8日 名古屋 |

●産婦人科

| 学会名／演題 | 氏名 | 日付／場所 |
|------------------------------------------|-------|-----------------------|
| 第135回東海産科婦人科学会 子宮留膿腫の穿孔に伴う急性汎発性腹膜炎の一例 | 佐々木裕子 | 2015年2月21日～22日 名古屋 |

●歯科口腔外科

| 学会名／演題 | 氏名 | 日付／場所 |
|-------------------------------------------------------------------------|-------|------------------|
| 第39回（公社）日本口腔外科学会中部支部学術集会 当科における血管撮影術を用いた鎖骨下静脈への穿刺法 | 水野 頌也 | 2014年5月17日 長野 |
| 第84回愛知学院大学歯学会学術大会 口腔癌に対する血流改変術を併用した超選択的動注化学療法における転移リンパ節CT画像所見の変化について | 花井 寛之 | 2014年6月8日 名古屋 |

●臨床検査技術室

| 学会名／演題 | 氏名 | 日付／場所 |
|--------------------------------------------------------|-------|----------------------|
| 第9回関西透析超音波研究会 VAトラブル時に必要な最低限知ってほしいエコー情報とは？ | 若林 弥生 | 2014年4月13日 奈良 |
| 第15回愛知県医学検査学会 small cell carcinoma 骨転移の1症例 | 柏原 匡 | 2014年6月1日 知多 |
| 第15回愛知県医学検査学会 糖尿病患者の食塩摂取量の評価 | 小池 清登 | 2014年6月1日 知多 |
| 第2回東海血管検査研究会 当院vascular labの現状 | 若林 弥生 | 2014年8月31日 名古屋 |
| 日臨技中部圏支部第53回医学検査学会 輸血担当技師による患者説明について | 神野 洋彰 | 2014年9月26日～28日 富山 |
| 第9回濃尾ペリフェラルインターベンション研究会 フットケアについて考えるー検査・診断における工夫と考察 | 若林 弥生 | 2014年10月18日 名古屋 |

●リハビリテーション技術室

| 学会名／演題 | 氏名 | 日付／場所 |
|-----------------------------------------------|------|-----------------------|
| 第19回愛知クリニカルパス研究会 周術期リハビリテーションクリニカルパスの作成と運用 | 山下 裕 | 2014年7月19日 名古屋 |
| 第30回東海北陸理学療法学術大会 人工膝関節置換術施行患者の身体活動量の継時的変化 | 中崎 亨 | 2014年11月15日～16日 静岡 |

講 演

●内科

| 講演会名／演題 | 氏 名 | 日付／場所 |
|---------------------------------------------------------------------------------------------|-------|--------------------|
| 静岡中部透析談話会 高齢透析患者の治療中止 | 渡邊 有三 | 2014年4月15日 静岡 |
| 空知CKD懇話会 慢性腎臓病（CKD）の内科的管理 | 渡邊 有三 | 2014年6月5日 北海道 |
| ESA25周年記念講演会 ESA発売四半世紀を振り返って—その光と影— | 渡邊 有三 | 2015年7月10日 名古屋 |
| 第2回尾北透析研究会 リン管理の最近の話題—To treat or not to treat that is a question— | 渡邊 有三 | 2014年7月19日 小牧 |
| 第37回栃木県透析医学会 高齢化時代を迎える中での透析医療の今後 | 渡邊 有三 | 2014年9月20日 栃木 |
| 八事腎カンファレンス 高齢化時代を迎える中での透析医療の今後 | 渡邊 有三 | 2014年10月14日 名古屋 |
| CKDセミナー in 名古屋 ストップ慢性腎臓病（CKD）—早期発見と身近な対策— | 渡邊 有三 | 2014年10月26日 名古屋 |
| 第98回岡山透析談話会 透析療法の見合わせ（withholding and/or withdrawal）に関わる医師の姿勢 | 渡邊 有三 | 2014年11月29日 岡山 |
| 浜松CKD医療連携会議 高齢者主体の透析医療現場の課題—透析療法見合わせ含めての対応— | 渡邊 有三 | 2014年12月8日 静岡 |
| 腎機能障害者高齢化支援研究会 CKD患者の高齢化時代における支援 | 渡邊 有三 | 2015年2月7日 名古屋 |
| 岡山第5回NDHネットワーク研究会 高齢透析患者増加に伴う問題点と対策 | 渡邊 有三 | 2015年3月3日 岡山 |
| 第24回春日井糖尿病研究会 糖尿病地域連携と新“糖尿病センター” | 佐々木洋光 | 2014年6月21日 春日井 |
| 第50回愛知県糖尿病療養指導研究会 学術講演会 妊娠時の耐糖能異常—妊娠糖尿病と糖尿病合併妊娠— | 佐々木洋光 | 2014年6月22日 名古屋 |
| 春日井市医師会学術講演会 糖尿病治療薬をどう使うか—DPP-4阻害薬とSGLT2阻害薬— | 佐々木洋光 | 2014年9月16日 春日井 |
| 2014健康救急フェスティバル 最近の糖尿病治療の実際 | 佐々木洋光 | 2014年9月7日 春日井 |
| 春日井市地域連携交流会 高齢者のインスリン治療 | 佐々木洋光 | 2014年9月18日 春日井 |
| 日医生涯教育協力講座 セミナー“新しいステージを迎えた糖尿病治療” パネルディスカッション“新規薬剤の登場による糖尿病治療の変化” —基幹病院(糖尿病専門医)の立場から— | 佐々木洋光 | 2014年12月6日 名古屋 |
| 日本医師事務作業補助研究会第2回愛知・岐阜地方会 医師による医学知識講座 糖尿病 | 佐々木洋光 | 2014年11月8日 一宮 |
| 第36回糖尿病薬物療法研究会 チーム医療におけるSGLT2阻害薬の適正使用と療養指導の注意点について～SGLT2阻害薬のリコメンデーション、伝わる療養指導とは？～ | 佐々木洋光 | 2015年1月24日 名古屋 |

| 講演会名／演題 | 氏名 | 日付／場所 |
|----------------------------------------------|-------|-------------------|
| 愛知県腎臓病協議会講演会 元気な透析ライフのために～様々な合併症への対策～ | 成瀬 友彦 | 2014年6月1日 長久手 |
| 愛知県腎臓病協議会講演会 元気な透析ライフのために～恐い長期透析合併症～ | 成瀬 友彦 | 2014年6月29日 春日井 |
| 名古屋市医師会講演会 慢性腎臓病外来診療のピットホール | 成瀬 友彦 | 2014年9月27日 名古屋 |
| 平成腎カンファ講演会 意外な結論となった透析症例集 | 成瀬 友彦 | 2015年2月12日 名古屋 |
| 腎不全の合併症を考える集い ESA治療の問題点～鉄は有益か有害か？～ | 成瀬 友彦 | 2015年3月5日 名古屋 |
| 第2回中部腎と薬剤研究会 サイレントキラーリンの上手な管理法 | 成瀬 友彦 | 2015年3月21日 名古屋 |
| 内分泌代謝疾患症例検討会 SGLT2阻害薬の効果と安全性pros and cons | 岡田由紀子 | 2014年5月9日 名古屋 |
| 第17回西尾張地区糖尿病研究会 高齢者糖尿病の薬物治療 | 岡田由紀子 | 2014年7月17日 名古屋 |
| 第9回濃尾ペリフェラルインターベンション研究会 フットケアの管理について | 岡田由紀子 | 2015年1月18日 名古屋 |
| 実践糖尿病Webセミナー 高齢者の糖尿病治療の最前線 | 岡田由紀子 | 2015年2月5日 春日井 |

●神経内科

| 講演会名／演題 | 氏名 | 日付／場所 |
|------------------------------------------------|-------|-------------------|
| 春日井脳血管障害セミナー 延髄半側症候群を呈した脳梗塞の2例 | 敷田 知之 | 2014年9月25日 春日井 |
| 第13回長久手神経疾患の病理検討会 球麻痺と全身性筋萎縮を呈した全経過1年の81歳男性 | 鳥居 良太 | 2014年10月1日 長久手 |

●呼吸器科

| 講演会名／演題 | 氏名 | 日付／場所 |
|-----------------------------------------------------------------|------|-------------------|
| 第2回春日井呼吸器懇話会 喘息・COPD間の関～Asthma COPD Overlap Syndrome (ACOS)～ | 岩田 晋 | 2015年2月28日 春日井 |

●消化器科

| 講演会名／演題 | 氏名 | 日付／場所 |
|--------------------------|-------|-------------------|
| かすがい熟年大学公開講座 胃腸の働きと健康 | 平田 慶和 | 2014年6月26日 春日井 |

●形成外科

| 講演会名／演題 | 氏名 | 日付／場所 |
|-------------------------------------------------|-------|-------------------|
| JAET/WOC愛知県勉強会 褥瘡・難治皮膚潰瘍の外科的治療 | 菱田 雅之 | 2014年10月9日 名古屋 |
| 愛知県がんセンター愛知病院褥瘡委員会勉強会 春日井市民病院の褥瘡対策チームの活動について | 菱田 雅之 | 2015年1月7日 名古屋 |

●産婦人科

| 講演会名／演題 | 氏名 | 日付／場所 |
|--------------------------------------------------------|-------|-------------------|
| 名古屋産婦人科Kampo Seminar 必勝！漢方専門医の取り方～こうすればあなたでも必ずとれます～ | 早川 博生 | 2015年1月17日 名古屋 |

●歯科口腔外科

| 講演会名／演題 | 氏名 | 日付／場所 |
|--------------------------------------------------------------|-------|-------------------|
| 第59回公益社団法人日本口腔外科学会総会・学術大会 浅側頭動脈よりの超選択的動注療法を成功させるためのキーポイント | 丹下 和久 | 2014年10月17日 千葉 |

●臨床検査技術室

| 講演会名／演題 | 氏名 | 日付／場所 |
|-------------------------------------------|-------|-------------------|
| 愛知県栄養士会医療部会研修会 臨床検査におけるリスクマネジメント—糖尿病編— | 後藤 慎一 | 2014年11月1日 名古屋 |

●看護局

| 講演会名／演題 | 氏名 | 日付／場所 |
|--------------------------------|-------|-------------------|
| 尾張東部地域在宅研修会 ストーマってなに？ | 横井さつき | 2014年7月5日 瀬戸 |
| 尾張東部地域在宅研修会 皮膚・スキンケアについて知ろう | 細野美穂子 | 2014年7月5日 瀬戸 |
| 尾張東部地域在宅研修会 ストーマスキントラブルと合併症 | 横井さつき | 2014年7月5日 瀬戸 |
| 尾張東部地域在宅研修会 日常生活におけるストーマ管理 | 細野美穂子 | 2014年7月5日 瀬戸 |
| 尾張東部地域在宅研修会 褥瘡予防の基礎知識 | 横井さつき | 2014年10月4日 長久手 |
| 尾張東部地域在宅研修会 在宅におけるマットレスの選び方 | 細野美穂子 | 2014年10月4日 長久手 |
| 尾張東部地域在宅研修会 褥瘡ケア | 横井さつき | 2014年11月1日 春日井 |
| 尾張東部地域在宅研修会 事例検討2例 | 細野美穂子 | 2014年11月1日 春日井 |

その他

●院長

| 演題 | 氏名 | 日付 |
|-------------------------------|-------|-------------|
| CBCラジオ 多田しげおの朝からボン 低血糖とは | 渡邊 有三 | 2014年7月3日 |
| CBCラジオ 多田しげおの朝からボン 排泄と健康 | 渡邊 有三 | 2014年10月3日 |
| CBCラジオ 多田しげおの朝からボン 慢性腎臓病とは | 渡邊 有三 | 2014年11月29日 |

地域研修会・交流会

| 研修会名／演題 | 所属／氏名 | 日付／場所 |
|------------------------------------------------------------------|----------------------------------|----------------------------------|
| 第8回春日井市地域連携糖尿病研修会 高齢者糖尿病について 認知症との関連性 | 中部ろうさい病院 副院長 河村 孝彦 | 2014年10月25日 勝川プラザホテル |
| 第8回春日井市地域連携糖尿病研修会 高齢者糖尿病の治療と療養指導について | 看護局 谷口 美和子 | |
| 第9回春日井市地域連携糖尿病研修会 歯周病対策ネットワーク推進会議8年間の取り組み | 春日井保健所 健康支援課地域保健グループ 富田 弘子 | 2015年3月12日 春日井市総合保健 医療センター |
| 第9回春日井市地域連携糖尿病研修会 糖尿病と歯周病の相互作用について | 愛知学院大学歯学部 歯周病学講座 講師 菊池 毅 | |
| 第9回春日井市地域連携糖尿病研修会 歯周病のチェックポイント | さくらい歯科 歯科衛生士 鈴置 留美 | |
| 第22回地域連携研修会～がん治療期における退院支援～ 事例紹介 グループワーキング | 医療連携室 近藤 典子 | 2014年5月15日 市民病院講堂 |
| 第23回地域連携研修会～がん終末期における退院支援～ 事例紹介 グループワーキング | 医療連携室 幡野 由紀 | 2014年7月17日 市民病院講堂 |
| 第24回地域連携研修会～地域連携交流会 糖尿病と認知症～ 認知症をもつ糖尿病患者のケアについて | 副院長 佐々木洋光 | 2014年9月18日 市民病院講堂 |
| 第24回地域連携研修会～地域連携交流会 糖尿病と認知症～ 高齢者糖尿病患者のケアについて | 田島クリニック 病院長 田島 義孝 | |
| 第24回地域連携研修会～地域連携交流会 糖尿病と認知症～ 薬局の新しい業務 | あおぞら薬局 春日井市薬剤師会会長 塚本 知男 | |
| 第24回地域連携研修会～地域連携交流会 糖尿病と認知症～ 高齢者糖尿病患者のケアの現状 | 訪問看護ステーション 太陽高蔵寺 丹波ちひろ | |
| 第24回地域連携研修会～地域連携交流会 糖尿病と認知症～ 高齢者糖尿病患者のケアについて | 春日井市 地域包括支援センター勝川 佐藤智香子 | |
| 第24回地域連携研修会～地域連携交流会 糖尿病と認知症～ 独居で認知症があり、インシュリン注射が必要な方の ケア報告 | 春日井市医師会 居宅介護支援事業所 正木 恭子 | |
| 第24回地域連携研修会～地域連携交流会 糖尿病と認知症～ 高齢者糖尿病患者のケアについて | 春日井市介護保険課 長縄 岳康 | |
| 第25回地域連携研修会～がん終末期における退院支援～ 事例紹介 グループワーキング | 医療連携室 幡野 由紀 | |
| 第26回地域連携研修会～介護保険制度改定について～ 事例紹介 グループワーキング | ソラスト 水谷 公治 | 2015年3月19日 市民病院講堂 |
| 第1回地域連携交流会 かたり場 | 座談会 | 2015年1月15日 市民病院講堂 |
| 地域内医療機関感染予防協議会カンファレンス 抗菌薬の使い方PK-PD理論から | 薬剤部 稲垣由加利 | 2014年7月17日 市民病院講堂 |

| 研修会名／演題 | 所属／氏名 | 日付／場所 |
|--------------------------------------------------|----------------------------------------|-----------------------------------|
| 地域内医療機関感染予防協議会カンファレンス ESBLについて | 臨床検査室 堀尾 浩巳 | 2014年9月11日 市民病院講堂 |
| 地域内医療機関感染予防協議会カンファレンス 手指衛生の5つのタイミングを知っていますか？ | 看護局 三輪 幸 | |
| 地域内医療機関感染予防協議会カンファレンス 医療従事者の結核について | ICT委嘱専門医 (ICD) 林 嘉光 | |
| 地域内医療機関感染予防協議会カンファレンス エボラウイルス病 (エボラ出血熱) の臨床 | 臨床検査室 堀尾 浩巳 | 2014年12月11日 春日井市総合保健 医療センター |
| 地域内医療機関感染予防協議会カンファレンス エボラウイルス出血熱 | ICT委嘱専門医 (ICD) 林 嘉光 | |
| 地域内医療機関感染予防協議会カンファレンス エボラ出血熱の治療 | 薬剤部 中崎みづき | |
| 地域内医療機関感染予防協議会カンファレンス エボラ出血熱患者の県内発生を想定した訓練 | 病院安全推進室 伴 信義 | |
| 地域内医療機関感染予防協議会カンファレンス 東海記念病院院内感染対策委員会活動報告 | 医療法人社団 喜峰会 東海記念病院 感染管理認定看護師 脇 眞澄 | 2015年3月21日 春日井市総合保健 医療センター |
| 地域内医療機関感染予防協議会カンファレンス 血流感染防止のための清拭タオル変更への取り組み | 看護局 三輪 幸 | |

●春日井キャンサーオープンカンファレンス

| テーマ | 所属／氏名 | 日付／場所 |
|----------------------------|------------------------------------------------------------------------------|----------------------|
| 第21回 大腸がん | 消化器科 祖父江 聡 平田 慶和 | 2014年4月3日 市民病院講堂 |
| 第22回 春日井市総合保険医療センター検診について | 総合保健医療センター 伊藤 朝子 壁谷真奈実 金井沙耶香 | 2014年5月8日 市民病院講堂 |
| 第23回 リンパ浮腫 | リムズ徳島クリニック院長 小川 佳宏 | 2014年6月5日 市民病院講堂 |
| 第24回 脳腫瘍 | 脳神経外科／野田 寛 名古屋市立大学大学院医学研究科 放射線医学分野准教授 松尾 政之 | 2014年7月3日 市民病院講堂 |
| 第25回 腎障害と化学療法 | 内科／成瀬 友彦 薬剤部／大岩 拓馬 | 2014年8月7日 市民病院講堂 |
| 第26回 がんに関わるチーム医療～ケースカンファ I | 口腔外科／丹下 和久 形成外科／菱田 雅之 ICT専任医師／林 嘉光 がん相談支援センター 崎山奈津子 看護局／近藤 俊史 | 2014年9月4日 市民病院講堂 |
| 第27回 乳がん | 外科／秋田 直宏 看護局／福島あかね 医療連携室／田辺 圭子 | 2014年10月2日 市民病院講堂 |

| テーマ | 所属／氏名 | 日付／場所 |
|--------------------|-----------------------------------|----------------------|
| 第28回 肺がん | 呼吸器科 岩田 晋 宮沢亜矢子 | 2014年11月6日 市民病院講堂 |
| 第29回 緩和ケアはいつからか | 外科／會津 恵司 がん相談支援センター 森本 優子 | 2014年12月4日 市民病院講堂 |
| 第30回 がんの治療と妊孕性の温存 | 浅田レディースクリニック院長 浅田 義正 | 2015年1月8日 市民病院講堂 |
| 第31回 抗がん剤の副作用とその対策 | 眼科／玉井 祐樹 皮膚科／山中 新也 薬剤部／松原 怜 | 2015年2月5日 市民病院講堂 |
| 第32回 原発不明がん | 愛知県がんセンター中央病院 薬物療法部医長／安藤 正志 | 2015年3月5日 市民病院講堂 |

院内研修会

| 研修会名／演題 | 所属／氏名 | 日付／場所 |
|-------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------|-----------------------------------|
| 平成26年度輸血研修会 輸血感染症と安全対策 | 愛知県赤十字血液センター 石川 裕子 | 2014年10月8日 市民病院講堂 |
| 平成26年度輸血研修会 よくわかる血液型の話 | 臨床検査技術室 鈴木 博子 | |
| 第16回クリニカルパス大会～アウトカム志向を目指した クリニカルパスの作成へ向けて～ 当院のクリニカルパスの現状と課題 | 医療情報センター 後藤 慎一 | 2015年1月27日 市民病院講堂 |
| 第16回クリニカルパス大会～アウトカム志向を目指した クリニカルパスの作成へ向けて～ プロセスパスの紹介 | 看護局 細野美穂子 | |
| 第16回クリニカルパス大会～アウトカム志向を目指した クリニカルパスの作成へ向けて～ アウトカム志向型パスの紹介 | 外科 會津 恵司 | |
| 交通安全教育の職場研修 交通安全講和 交通安全啓発ビデオ | 春日井警察署 交通課職員 | 2014年7月10日 春日井市総合保健 医療センター |
| 医療関連感染に関わる職員研修 C.difficile感染症 | 名古屋市立大学大学院医学研究科 呼吸器・免疫アレルギー内科学 病院教授／中村 敦 | 2014年9月19日 春日井市総合保健 医療センター |
| 安全管理のための職員研修 医療事故を経験した遺族の立場から ～遺族が医療対話推進者になって～ | 新葛飾病院 医療対話推進者 豊田 郁子 | 2014年12月18日 春日井市総合保健 医療センター |
| 医療関連感染に関わる職員研修 エボラ出血熱について | ICT委嘱専門医 (ICD) 林 嘉光 | 2015年1月23日 春日井市総合保健 医療センター |
| 医療関連感染に関わる職員研修 当院における血流感染の現状とその対策 | 看護局 三輪 幸 | |
| 災害医療研修会 「災害への備えは万全か？」 | 名古屋掖済会病院 副院長 北川 喜己 | 2015年3月19日 市民病院講堂 |

| 研修会名／演題 | 所属／氏名 | 日付／場所 |
|----------------------------------|-------------------|----------------------|
| 安全管理のための職員研修 病院安全推進室の一年を振り返って | 病院安全推進室長 成瀬 友彦 | 2015年3月24日 市民病院講堂 |

●内科合同勉強会

| 演 題 | 所属／氏名 | 日付／場所 |
|----------------------------|---------------|----------------------|
| 腹膜透析患者の救急対応 | 内科 横江 優貴 | 2014年4月2日 市民病院講堂 |
| CPAの一例 | 循環器科 石田久美子 | |
| 当院におけるt-PA治療 | 神経内科 鳥居 良太 | 2014年4月16日 市民病院講堂 |
| 大腸ポリペクトミー後に敗血症を生じた一例 | 消化器科 高田 博樹 | |
| AMIのPCIについて | 循環器科 寺沢 彰浩 | 2014年5月7日 市民病院講堂 |
| 結核症例の一例 | 呼吸器科 宮沢亜矢子 | |
| インフリキシマブ投与に伴う薬剤性ループスを来した一例 | 消化器科 森川 友裕 | 2014年5月21日 市民病院講堂 |
| コートリル錠を内服している患者さんのERでの対応 | 内科 岡田由紀子 | |
| 肺炎について | 呼吸器科 岩田 晋 | 2014年6月4日 市民病院講堂 |
| 不穏を主訴に救急搬送された58歳女性 | 神経内科 數田 知之 | |
| ギラン・バレー症候群が疑われて紹介された25歳男性 | 神経内科 野崎 康伸 | 2014年7月2日 市民病院講堂 |
| 救急外来を受診した急性腹症の一例 | 消化器科 | |
| 神経調節性失神について | 循環器科 近藤 圭太 | 2014年7月16日 市民病院講堂 |
| 肺炎の陰に隠れた肺癌 | 呼吸器科 宮沢亜矢子 | |
| 上部消化管静脈瘤の診断・治療 | 消化器科 菅野 琢也 | 2014年8月6日 市民病院講堂 |
| 肺炎の治療中に腎機能が悪化した一例 | 内科 山下 良子 | |
| NPPV治療はじめの一歩 | 呼吸器科 岩田 晋 | 2014年8月20日 市民病院講堂 |
| ものわすれ外来での一例 | 神経内科 遠藤 利洋 | |
| 嘔吐・下痢にてERを受診した高齢者の一例 | 内科 坂 洋祐 | 2014年9月3日 市民病院講堂 |
| 迷走神経反射(?)の一例 | 循環器科 石田久美子 | |

| 演 題 | 所属／氏名 | 日付／場所 |
|---------------------------------------|---------------|-----------------------|
| 脊椎疾患と内科 その1 | 神経内科 中藪 幹也 | 2014年9月17日 市民病院講堂 |
| イレウスの一例 | 消化器科 木村 幹俊 | |
| 冠れん縮性狭心症（異型狭心症）について | 循環器科 墨 卓也 | 2014年10月1日 市民病院講堂 |
| 呼吸困難を訴えるCOPDの一例 | 呼吸器科 岩田 晋 | |
| 大腸憩室出血 | 消化器科 杉山 智哉 | 2014年10月15日 市民病院講堂 |
| 発熱と意識障害にて紹介された一例 | 内科 山下 良子 | |
| ネーザルハイフローの使い方 | 呼吸器科 岩田 晋 | 2014年11月5日 市民病院講堂 |
| 脳梗塞にて加療中に発見した悪性腫瘍 | 神経内科 鳥居 良太 | |
| 当院における高Ca血症患者の検査値に与える | 内科 谷口 容平 | 2014年11月19日 市民病院講堂 |
| 発熱SpO2低下の一例 | 循環器科 石田久美子 | |
| 悪性腫瘍に伴った脳血管障害 | 神経内科 遠藤 利洋 | 2014年12月3日 市民病院講堂 |
| 下腹部痛の一例 | 消化器科 祖父江 聡 | |
| Stanford B型急性大動脈解離に対する早期リハビリテーションについて | 循環器科 滝川 智信 | 2014年12月17日 市民病院講堂 |
| 両肺瀰漫性浸潤影を呈した若年男性の一例 | 呼吸器科 岩田 晋 | |
| 当院における超音波内視鏡の現状 | 消化器科 高田 博樹 | 2015年1月21日 市民病院講堂 |
| 両下肢麻痺を主訴に来院した一例 | 内科 谷口 容平 | |
| 胸水のあれこれ | 呼吸器科 岩田 晋 | 2015年2月4日 市民病院講堂 |
| 脳梗塞、t-PA治療困難…でも!!! | 神経内科 鳥居 良太 | |

●看護実践報告会プログラム

| 演 題 | 所属／氏名 | 日付／場所 |
|-------------------------------------------------------------------------------------|----------------|---------------------|
| 平成26年度第1回実践報告会プログラム～クリニカルリーダーナース（CLN）の誕生で看護ケアはどのように変わるのか～ CLN導入に関する研究報告 | 看護管理室 伊藤みどり | 2014年9月6日 市民病院講堂 |
| 平成26年度第1回実践報告会プログラム～クリニカルリーダーナース（CLN）の誕生で看護ケアはどのように変わるのか～ CLNに関連したアンケート結果報告（部署別） | 西3病棟 加藤 知美 | |

| 演 題 | 所属／氏名 | 日付／場所 |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------|----------------------|
| 平成26年度第1回実践報告会プログラム～クリニカルリーダーナース（CLN）の誕生で看護ケアはどのように変わるのか～ 東7階CLNの取り組み | 東7病棟 戸田 貴子 西村 尚美 | 2014年9月6日 市民病院講堂 |
| 平成26年度第1回実践報告会プログラム～クリニカルリーダーナース（CLN）の誕生で看護ケアはどのように変わるのか～ 大腸ポリープ切除術患者の電話による退院後の状態確認 | 東3病棟 市川 仁一 藤田 恵美 可児永未子 穂苅 博美 大口 真由 原 貴美子 | |
| 平成26年度第1回実践報告会プログラム～クリニカルリーダーナース（CLN）の誕生で看護ケアはどのように変わるのか～ 口腔ケア向上を目指したCLNの取り組み | 西3病棟 岡山佐都子 桐谷久美子 服部 初美 | |
| 平成26年度第1回実践報告会プログラム～クリニカルリーダーナース（CLN）の誕生で看護ケアはどのように変わるのか～ 患者さんが望む生活を送るための退院支援 | 東2病棟 中橋香奈子 山田みちよ 川原 直子 | |
| 平成26年度第1回実践報告会プログラム～クリニカルリーダーナース（CLN）の誕生で看護ケアはどのように変わるのか～ 在宅退院へ向けてCLNが介入した事例 | 東5病棟 山本 陽子 | |
| 平成26年度第1回実践報告会プログラム～クリニカルリーダーナース（CLN）の誕生で看護ケアはどのように変わるのか～ CLNケアマネジメントの実際～医療処置が多く、在宅退院が極めて困難な患者の退院支援～ | 東6病棟 柴田 美香 鈴木美和子 川口かおり | |
| 平成26年度第2回実践報告会プログラム ～看護を変える グッドプラクティスに学ぶ～ 救急外来におけるwalk in患者のトリアージ導入前後の経過時間の比較 ～来院から心臓カテーテル検査室入室に至るまで～ | 救急部 立澤 宏真 小川 里美 石野 恵子 | 2015年2月14日 市民病院講堂 |
| 平成26年度第2回実践報告会プログラム ～看護を変える グッドプラクティスに学ぶ～ リターン受診の原因から見た看護師の役割 ～思考技術を活用した取り組み～ | 救急部 杉村ひろみ 加藤みどり 森 かおり | |
| 平成26年度第2回実践報告会プログラム ～看護を変える グッドプラクティスに学ぶ～ グループ・ペア制を導入して～半年間の経過報告～ | 西7病棟 小池 訓子 小島 礼子 | |
| 平成26年度第2回実践報告会プログラム ～看護を変える グッドプラクティスに学ぶ～ 病棟と外来の一元化～継続看護を活かすために～ | 西6病棟 波多野京子 | |
| 平成26年度第2回実践報告会プログラム ～看護を変える グッドプラクティスに学ぶ～ 終末期看護の関わり | 西4病棟 田中 里美 吉原 幸 | |
| 平成26年度第2回実践報告会プログラム ～看護を変える グッドプラクティスに学ぶ～ 赤ちゃんにやさしい病院を目指して ～根拠に基づく母乳育児支援～ | 東2病棟 山際真理子 中世古朋美 | |
| 平成26年度第2回実践報告会プログラム ～看護を変える グッドプラクティスに学ぶ～ ストーリーナビリテーション 地域へつなぐ看護の問題点と課題 | 西4病棟 深尾 夏代 金子 芳子 | |

| 演 題 | 所属／氏名 | 日付／場所 |
|------------------------------------------------------------------------------|---------------------|----------------------|
| 平成26年度第2回実践報告会プログラム ～看護を変える グッドプラクティスに学ぶ～ つなぐ看護の取り組みの現状報告～退院後在宅訪問を行って～ | がん相談支援センター 崎山奈津子 | 2015年2月14日 市民病院講堂 |

研修医CPC

| 剖検 番号 | テーマ | 主治医 | 研修医(臨床) | 研修医(病理) | 指導病理医 | 日 付 |
|----------|--------------------------------|-----------------|---------|---------|-------|--------|
| 579 | 呼吸不全で来院した急性腎不全の1例 | 山下 良子 (内科) | 守矢すみれ | 鈴木 優 | 吉田めぐみ | 5月22日 |
| 583 | 急性心肺停止後に救急搬送された1症例 | 石田久美子 (循環器科) | 高原 邦彦 | 三輪 綾子 | 立山 尚 | 7月24日 |
| 585 | 食欲不振を主訴とした急性白血病の1例 | 鳥居 良太 (神経内科) | 隈井 大介 | 山本 友輝 | 吉田めぐみ | 10月17日 |
| 586 | CPA蘇生後、低酸素血症による痙攣が生じ心肺停止に至った1例 | 遠藤 利洋 (神経内科) | 湯川 貴史 | 山本 泰資 | 立山 尚 | 12月25日 |
| 593 | DIC後に、多臓器不全が進行した1例 | 古賀 俊充 (内科) | 床本 光弘 | 野田 平 | 立山 尚 | 3月17日 |

剖検報告

平成26年度病理解剖報告

| 剖検番号 | 年齢 | 性別 | 科 | 臨床診断 | 病理解剖学的診断 |
|------|----|----|-------|--------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 584 | 63 | 男 | 神経内科 | 細菌性髄膜炎、尿崩症 | 1. 化膿性髄膜炎 2. 腎多発性膿瘍 3. 左腸腰筋膿瘍および出血 4. 脾臓炎 5. 肝臓胆汁うっ滞 6. 両側肺うっ血水腫、気管支肺炎、気管びらん 7. 甲状腺濾胞腺腫 8. 胃びらん 9. 骨髄過形成 10. DIC、敗血症 |
| 585 | 74 | 女 | 神経内科 | 急性白血病 | 1. 急性骨髄性白血病(浸潤臓器:骨髄、肺、肝、脾、脾、消化管、腎、副腎、膀胱、子宮、乳腺、甲状腺、心、大動脈、大脳、小脳、下垂体、硬膜) 2. アルツハイマー型痴呆 3. 肝髄外造血 4. 両側気管支肺炎 5. 大腸腺腫 6. 子宮平滑筋腫 7. 十二指腸憩室 8. 大動脈粥状硬化症 |
| 586 | 71 | 男 | 神経内科 | 心不全、心肥大、胸膜癒着 | 1. 両側誤嚥性肺炎、気管支肺炎およびうっ血水腫 2. 心肥大(560g)、虚血性小線維化巣、局所性肉芽腫性心筋炎 3. 脂肪肝 4. 大動脈粥状硬化症 5. 大脳基底核多発性小梗塞 6. 急性糸球体腎炎疑い、左腎囊胞 7. 虚血性腸炎、上行結腸憩室症 8. 慢性膀胱炎 9. 前立腺肥大症 10. 慢性膀胱炎 11. 舌真菌感染症 12. 小腸血管腫 |
| 587 | 70 | 女 | 循環器科 | うっ血性心不全、心アミロイドーシス、多発性骨髄腫 | 1. 原発性アミロイドーシス(多発性骨髄腫に伴う全身性アミロイドーシス) 2. 虚血性腸炎 3. 脳梗塞(左頭頂葉) 4. 肝血管腫 5. 腺腫様甲状腺腫 6. 大動脈粥状硬化症 7. 右下腹部手術痕 8. 巨舌 |
| 588 | 75 | 男 | 神経内科 | 亜急性海綿状脳症 | 1. クロイツフェルト-ヤコブ病 2. 心肥大(545g)、虚血性小線維化巣 3. 腹部大動脈瘤、動脈粥状硬化症 4. 気管支肺炎 5. 血球貪食症候群 6. 腎硬化症、多発性腎囊胞 7. 肝臓褐色萎縮 8. 腺腫様甲状腺腫 9. 筋萎縮 |
| 589 | 58 | 男 | 内科 | 敗血症、心不全、左シャント瘤感染 | 1. 感染性心内膜炎(大動脈弁穿孔を伴う)、急性心筋梗塞、線維性心外膜炎 2. 両側腎萎縮、多発性腎囊胞(透析腎) 3. うっ血肺水腫、器質化肺炎、転移性石灰化 4. 慢性肝うっ血および肝線維症 5. 脾腫(460g)、脾静脈瘤 6. 左前腕シャント部感染症、器質化血拴 7. 慢性胆嚢炎、胆石症 8. 直腸びらん 9. 腺腫様甲状腺腫 10. 慢性膀胱炎 11. 骨髄過形成 12. 精巣萎縮 |
| 590 | 84 | 男 | 神経内科 | 脳幹梗塞 | 1. 脳梗塞:脳幹(中脳、橋)、右小脳 2. 脳底動脈粥状硬化症(高度) |
| 591 | 90 | 女 | 内科 | 慢性心不全、DIC、慢性腎不全 | 1. 新鮮および陈旧性心筋梗塞 2. 右肺動脈血栓塞栓症、右肺中葉小梗塞、両側多発性血栓症 3. 肝門部門脈血栓症、肝うっ血 4. 腹部大動脈瘤(血拴を伴う) 5. 大動脈弁および僧帽弁高度石灰化、心肥大(420g) 6. 腎萎縮(慢性腎不全状態、透析腎) 7. 食道・胃多発性びらん 8. 虚血性腸炎 9. 結腸管状腺腫 10. 左傍卵巣囊胞 11. 結腸癌および肝転移巣切除後状態、再発なし |
| 592 | 78 | 女 | 内科 | 変形性膝関節症、再発性腎盂腎炎、高血圧症 | 1. 陈旧性心筋虚血性変化、心肥大(310g) 2. 大動脈高度粥状硬化症 3. 腹部大動脈瘤 4. 良性腎硬化症 5. 慢性腎盂腎炎 6. 器質化肺炎 7. 慢性肝炎(薬剤性疑い) 8. 慢性膀胱炎 9. 腔水症(右胸水1000ml) |
| 593 | 83 | 男 | 内科 | 肝不全、敗血症、DIC | 1. 亜広汎性肝壊死 2. B型慢性肝炎、高度胆汁うっ滞、急性胆管炎 3. 慢性肺うっ血、気管支肺炎 4. 陈旧性心筋梗塞、心肥大(330g)、心アミロイドーシス 5. 食道出血性潰瘍・胃多発性びらん 6. 腔水症(腹水5500ml、右胸水500ml) 7. 高度腎萎縮、多発性腎囊胞(人工透析中) 8. 大動脈粥状硬化症 9. 大動脈弁石灰化 10. 十二指腸脂肪腫 11. 結腸管状腺腫 12. 前立腺肥大症 13. 急性膀胱炎 14. メンケベルグ型動脈硬化症 15. 左指尖部壊死 |
| 594 | 80 | 女 | 内科 | 慢性腎臓病、肺炎、心不全 | 1. 急性呼吸窮迫症候群、気管支肺炎、器質化肺炎 2. 肺性心、急性心筋梗塞 3. 腔水症(右胸水700ml) 4. 慢性腎不全(糖尿病性腎症) 5. ケイキサレートによる大腸・直腸粘膜傷害 6. 骨髄赤芽球系過形成 7. 良性腎硬化症 8. 左腎乳頭腺腫 9. 大腸憩室症 10. 良性前立腺肥大症 |
| 595 | 6M | 男 | 小児科 | 乳幼児突然死症候群 | 1. 濾胞性気管支炎および細気管支炎、気管支肺炎、うっ血水腫 2. 副腎軽度低形成 3. 諸臓器うっ血 |
| 596 | 17 | 男 | 脳神経外科 | 脳動静脈奇形破裂によるクモ膜下出血、脳内出血 | 1. 右前頭葉動静脈奇形 2. 同破裂によるクモ膜下および脳内出血 3. 下垂体前葉壊死 4. 大脳および小脳のびまん性の神経細胞の虚血性変化 5. 上矢状静脈洞血栓症 |
| 597 | 50 | 女 | 循環器科 | 呼吸不全、DIC、卵巣腫瘍 | 1. 重複癌 卵巣癌(類内膜腺癌、浸潤子宮、転移なし) 乳癌(非浸潤性乳癌、転移なし) 2. 急性心筋梗塞 3. 肺うっ血水腫、気管支肺炎 4. 急性腎盂腎炎 5. 骨髄過形成 6. 悪液質 7. 線維素性腹膜炎 8. 大動脈粥状硬化症 9. 肝血管腫 10. 子宮頸部血管腫 11. 子宮平滑筋腫 12. 子宮内膜症(腔、横隔膜) 13. びらん性食道炎 |
| 598 | 61 | 男 | 内科 | るい瘦 | 1. 両側大葉性肺炎(気管支内異物を伴う)およびうっ血水腫 2. 肺動脈血栓塞栓症 3. 心褐色萎縮(270g)、右房内血拴 4. 諸臓器うっ血(肝、腎、脾、消化管、副腎、大脳) 5. 高度のるい瘦 6. 急性および慢性膀胱炎 7. 良性前立腺肥大症 8. 腎硬化症、腎動脈血栓症 9. 骨髄低形成 10. 大動脈粥状硬化症 11. 胃切除後状態 12. 大脳レンズ核微小梗塞巣 13. 右前頭葉動静脈奇形術後状態 |
| 599 | 72 | 男 | 循環器科 | 急性・陈旧性心筋梗塞、心不全、急性間質性肺炎 | 1. びまん性肺泡傷害、器質化肺炎、気管支肺炎 2. 出血性直腸潰瘍、虚血性大腸炎 3. 急性心筋梗塞、うっ血性心不全 4. 肝うっ血、中心静脈周囲肝細胞壊死 5. 大動脈粥状硬化症 6. 腎動脈硬化性変化 7. 脾軽度出血 8. 胃出血 9. 大腸憩室症 |

病 院 概 要

I 施設概要

1 沿革

| | |
|----------|------------------------------------------------------------------------------|
| 昭和26年 8月 | 春日井市民病院として開院 診療科目 内科、外科 一般病床42床 |
| 12月 | 産婦人科新設 |
| 27年 10月 | 第2病棟（55床）完成し、97床となる。 |
| 30年 3月 | 市立春日井病院（伝染）、市民病院の併設となる。 |
| 33年 3月 | 耳鼻いんこう科新設 |
| 4月 | 病棟（50床）増築完成し、147床となる。 |
| 34年 7月 | 国民健康保険診療施設春日井市民病院に改める。 |
| 8月 | 看護婦宿舎完成（木造2階建） |
| 36年 3月 | 病院改築第1期工事（A病棟）着工 |
| 37年 3月 | 病院改築第1期工事完成 鉄筋コンクリート造地下1階地上3階、延床3,968.66㎡ 116床 |
| 10月 | 病院改築第2期工事（診療管理棟）着工 |
| 38年 4月 | 病院改築第2期工事完成 鉄筋コンクリート造地下1階地上2階、延床2,030㎡ |
| 8月 | 小児科、眼科、整形外科新設 |
| 39年 4月 | 公営企業法による財務規定の一部適用 |
| 5月 | 看護婦宿舎改築工事完成 鉄筋コンクリート造4階建 50人収容 |
| 7月 | 上八田医師住宅完成 鉄筋コンクリート造2階建 4戸 |
| 8月 | 救急病院指定 |
| 9月 | 旧看護婦宿舎を病床（43床）に改造 |
| 12月 | 病床数一般病床159床、結核病床58床、計217床に変更 |
| 41年 8月 | 病院機構改革 医務局、事務局の2局制となる。 |
| 42年 1月 | 総合病院の名称使用承認 |
| 3月 | 国保診療施設から独立、春日井市民病院として発足 |
| 44年 8月 | 六軒屋医師住宅完成（4戸） |
| 10月 | X線断層撮影装置整備 |
| 45年 1月 | 脳神経外科新設 |
| 10月 | B病棟増築第1期工事着工 |
| 46年 3月 | B病棟増築第1期工事完成 鉄筋コンクリート造地下1階地上2階、延床1,763.10㎡ 病床数 一般病床284床 結核44床 計328床に変更 |
| 8月 | B病棟増築第2期工事着工 |
| 47年 2月 | B病棟増築第2期工事完成 鉄筋コンクリート造3～5階建、延床2,624.85㎡ 六軒屋医師住宅完成（2戸） 託児所開設 |
| 51年 8月 | 看護婦宿舎建設工事着工 |
| 12月 | 中央診療管理棟建設工事着工 |

| | | |
|-------|-----|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 昭和52年 | 3月 | 看護婦宿舎建設工事完成 鉄筋コンクリート造5階建 100人収容 |
| | 9月 | リハビリ棟（水治療）完成 |
| 53年 | 1月 | 中央診療管理棟建設工事完成 鉄筋コンクリート造地下1階地上3階、延床3,928.83㎡ |
| | 3月 | 伝染病棟（10床）改築工事完成 |
| | 9月 | 診療棟及びA病棟改造工事完成 病床数 一般病床288床 結核44床 計332床に変更 |
| 54年 | 4月 | 消化器科独立 |
| | 12月 | 結核病床（44床）を一般病床に変更 |
| 55年 | 12月 | 病院第2次整備事業着工 |
| 56年 | 9月 | A病棟4、5階増築工事完成 鉄筋コンクリート造 延床1,766.59㎡ リハビリ棟（機能回復訓練室）完成 延床397.55㎡ |
| 57年 | 3月 | A病棟地階～3階改造工事完成 |
| | 5月 | 病床数 一般病床を449床に変更 |
| | 8月 | 新中央診療管理棟増築工事完成 鉄筋コンクリート造地下1階地上5階、延床1,741.10㎡ 中央診療管理棟4階増築工事完成 延床191.91㎡ 厨房増築工事完成 延床226.81㎡ 全身用X線コンピュータ断層診断装置（CT）整備 |
| | 9月 | 人工透析部門開設（10床） |
| 59年 | 3月 | カルテ倉庫兼小動物実験棟完成 延床170.42㎡ |
| 62年 | 8月 | 病院第3次整備事業完成 外来部門新設 最新医療機器の導入（ライナック、血管連続撮影装置、CT） |
| | 10月 | 循環器科、皮膚科新設 |
| 63年 | 4月 | 病院機構改革 医務局、看護局、事務局の3局制となる。 |
| | 11月 | 病床数 一般病床を484床に変更 |
| 平成元年 | 3月 | 病床数 一般病床を500床に変更 |
| | 3年 | 4月 呼吸器科新設 磁気共鳴断層撮影装置（MRI）整備 |
| | 4年 | 1月 病診連携室を院内に開設 4月 結石破碎装置整備 病診連携事業開始 |
| | 5月 | 事務局に病院建設準備室を新設 |
| | 6月 | 新市民病院建設基本構想策定 |
| | 7月 | 体外衝撃波・尿管結石破碎術承認 |
| 5年 | 2月 | 予約診療開始 |
| | 4月 | 病院建設準備室を病院建設室に改称 伝染病棟を8床に変更 |
| | 5月 | 特別管理給食加算承認 選択メニュー実施 |
| | 8月 | 外来診療土曜日休診 |

| | | |
|------|-----|--------------------------------------------|
| 平成6年 | 2月 | 新市民病院基本設計委託 |
| 7年 | 5月 | 新市民病院実施設計委託 |
| | 7月 | 新市民病院看護職員宿舎工事着手 |
| 8年 | 2月 | 新市民病院調整池第1期工事 |
| | 6月 | 新市民病院本館建設工事着手 |
| | 10月 | 新市民病院看護職員宿舎入居開始 |
| 9年 | 8月 | 新春日井市民病院外構工事着手 |
| | 10月 | 麻酔科新設（診療科18科に） 麻薬管理料受理 |
| 10年 | 4月 | 新市民病院研修医宿舎完成 |
| | 11月 | 新市民病院開院 診療科目 22科、一般病床550床（開放型病床50床含む） |
| 11年 | 4月 | 感染症病床 6床 指定 |
| 13年 | 12月 | 日本病院機能評価認定 |
| 15年 | 4月 | 女性専用外来開設 |
| | 7月 | 日帰り手術センター開設 医療安全管理室開設 医療相談開始 |
| 16年 | 7月 | 動脈硬化外来開設 |
| 17年 | 4月 | 新生児聴覚検査開始 医療連携室開設 |
| 18年 | 4月 | セカンドオピニオン外来開設 |
| | 9月 | 64列マルチスライス型CT導入 |
| 19年 | 3月 | 外来化学療法センター開設 |
| | 4月 | インターネット検査予約開始 |
| | 10月 | 16列マルチスライス型CT（2台）導入 |
| | 12月 | ダブルバルーン内視鏡導入 |
| 20年 | 7月 | 静脈瘤外来開設 |
| | 10月 | 糖尿病指導外来開設 |
| 21年 | 1月 | 敷地内全面禁煙 |
| | 3月 | 中期経営計画（改革プラン）策定 |
| | 7月 | 糖尿病センター開設 |
| | 9月 | 紹介状持参患者専用窓口開設 |
| 22年 | 3月 | 中部大学との相互協力に関する覚書締結 災害拠点病院（地域災害医療センター）指定 |
| | 6月 | 地域連携ステーション開設 |
| | 9月 | ブラッドアクセスセンター開設 |
| | 12月 | 感染症病床陰圧装置設置 |
| 23年 | 5月 | 電子カルテシステム導入 検査・入院案内コーナー設置 |
| | 10月 | がん相談支援センター移転オープン |
| 24年 | 3月 | 愛知県がん診療拠点病院 指定 災害派遣医療チーム（DMAT）発足 |
| | 4月 | 病床数 一般病床のうち開放型病床を8床に変更 |

| | |
|----------|------------------------------------------------------|
| 平成24年 9月 | 地域医療支援病院承認 |
| 10月 | (仮称)春日井市総合保健センター整備工事着工 |
| 25年 2月 | 看護相談外来開設 |
| 3月 | 中期経営計画(改革プラン)改定 |
| 10月 | もの忘れ外来開設 院内助産開設 |
| 26年 1月 | 神経内科、脳神経外科を総合保健医療センター棟に移設 |
| 2月 | 救急部門を総合保健医療センター棟に移設 救急病床6床増床(一般病床556床) |
| 3月 | 放射線がん治療装置(トモセラピーHD)導入 |
| 4月 | 脳卒中センター開設 内視鏡センター開設 |
| 6月 | 春日井市総合保健医療センター開所 糖尿病センター移設使用開始 血管内治療センター移設使用開始 |
| 12月 | 心臓血管撮影装置更新 採血室移設使用開始 |
| 27年 2月 | 検査・入院案内コーナー移設使用開始 地域連携ステーション移設使用開始 |
| 3月 | 第2次中期経営計画策定 |

2 歴代院長等（平成27年4月1日現在）

(1) 歴代院長

| | |
|------|-----------------------|
| 竹中元彦 | 昭26. 4. 1～昭29. 2. 16 |
| 後藤力 | 29. 3. 4～ 30. 12. 27 |
| 鈴木茂 | 30. 12. 28～ 57. 6. 30 |
| 大村豊 | 57. 7. 1～平2. 3. 31 |
| 三輪新 | 平2. 4. 1～ 12. 3. 31 |
| 矢野孝 | 12. 4. 1～ 21. 3. 31 |
| 渡邊有三 | 21. 4. 1～ |

(2) 歴代名誉院長

| | |
|-----|---------------------|
| 鈴木茂 | 昭57. 7. 1～平2. 3. 31 |
| 大村豊 | 平2. 4. 1～ 4. 3. 31 |
| 三輪新 | 12. 4. 1～ 21. 3. 31 |
| 矢野孝 | 21. 4. 1～ 24. 3. 31 |

(3) 歴代副院長

| | |
|-------|-----------------------|
| 梶田武夫 | 昭26. 6. 1～昭30. 3. 1 |
| 林武久 | 30. 3. 7～ 32. 6. 30 |
| 飯田稔 | 33. 1. 1～ 45. 5. 1 |
| 中村金平 | 40. 8. 6～ 43. 7. 1 |
| 福井和典 | 43. 9. 1～ 49. 3. 31 |
| 船越宏恍 | 45. 3. 16～ 63. 12. 31 |
| 大村豊 | 52. 4. 1～ 57. 6. 30 |
| 三輪新 | 平2. 3. 1～平2. 3. 31 |
| 大橋大造 | 2. 3. 1～ 7. 3. 31 |
| 矢野孝 | 7. 1. 1～ 12. 3. 31 |
| 渡邊有三 | 12. 4. 1～ 21. 3. 31 |
| 金井道夫 | 14. 4. 1～ 27. 3. 31 |
| 伊藤和幸 | 15. 4. 1～ 24. 3. 31 |
| 種田陽一 | 24. 4. 1～ 26. 3. 31 |
| 平山幹生 | 24. 4. 1～ 27. 3. 31 |
| 松本修一 | 26. 4. 1～ |
| 佐々木洋光 | 26. 4. 1～ |
| 山口竜三 | 27. 4. 1～ |

(4) 歴代事務局長

| | |
|------|-----------------------|
| 林稔 | 昭25. 12. 1～昭29. 2. 1 |
| 伊藤六郎 | 29. 2. 1～ 29. 5. 10 |
| 梶田和雄 | 29. 5. 10～ 30. 6. 12 |
| 山崎成穂 | 30. 6. 13～ 30. 10. 10 |
| 伊藤義一 | 30. 10. 10～ 36. 4. 8 |
| 小川幸夫 | 36. 4. 8～ 42. 6. 30 |

| | |
|---------|------------------------|
| 長江 不知男 | 昭42. 7. 1 ~ 昭50. 6. 30 |
| 永草 宗 司 | 50. 7. 1 ~ 54. 3. 31 |
| 三上 坦 | 54. 4. 1 ~ 58. 3. 31 |
| 中山 茂 | 58. 4. 1 ~ 62. 3. 31 |
| 荒川 昭 | 62. 4. 1 ~ 平1. 3. 31 |
| 三上 坦 | 平1. 4. 1 ~ 5. 3. 31 |
| 足立 栄 一 | 5. 4. 1 ~ 7. 3. 31 |
| 長江 孝 雄 | 7. 4. 1 ~ 7. 7. 31 |
| 長谷川 典 明 | 7. 8. 1 ~ 9. 3. 31 |
| 稲田 嘉 道 | 9. 4. 1 ~ 12. 3. 31 |
| 岡田 滋 | 12. 4. 1 ~ 17. 3. 31 |
| 森川 利 博 | 17. 4. 1 ~ 19. 3. 31 |
| 梶田 博 | 19. 4. 1 ~ 21. 3. 31 |
| 森 典 嗣 | 21. 4. 1 ~ 23. 3. 31 |
| 瀧本 広 男 | 23. 4. 1 ~ 27. 3. 31 |
| 大塚 淳 弘 | 27. 4. 1 ~ |

(5) 歴代看護部長

| | |
|--------|-------------------------------|
| 榎本 まさ子 | 昭26. 8. 1 ~ 昭48. 8. 30 (看護婦長) |
| 榎本 まさ子 | 48. 7. 1 ~ 56. 3. 31 (総看護婦長) |
| 小林 静 子 | 56. 4. 1 ~ 平3. 3. 31 (総看護婦長) |
| 中山 ルミ子 | 平3. 4. 1 ~ 7. 3. 31 |
| 岩田 恒 子 | 7. 4. 1 ~ 12. 3. 31 |
| 林 静 子 | 12. 4. 1 ~ 19. 3. 31 |
| 蔭山 幸 枝 | 19. 4. 1 ~ 24. 3. 31 |
| 鈴江 智 恵 | 24. 4. 1 ~ |

3 施設（平成27年4月1日現在）

(1) 所在地 愛知県春日井市鷹来町1丁目1番地1

(2) 施設名 春日井市民病院

(3) 開設者 春日井市長 伊藤 太

(4) 管理者 院長 渡邊 有三

(5) 病床数 一般病床 556床（うち救急部病床 6床）
感染症病床 6床 計 562床

(6) 診療科目 22科
内科、メンタルヘルス科、神経内科、呼吸器科、消化器科、循環器科、小児科、外科、整形外科、形成外科、脳神経外科、呼吸器外科、心臓血管外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻いんこう科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、歯科口腔外科

(7) 構造規模 敷地面積 140,200㎡

構 造 市民病院本棟
鉄骨鉄筋コンクリート造
病 棟 地上7階・地下1階
診療棟 地上3階・地下1階
総合保健医療センター棟
鉄骨造
地上4階

延べ面積 47,059㎡
うち市民病院本棟
45,672㎡
うち総合保健医療センター棟
1,387㎡

駐 車 場 1,200台

その他の付属施設
エネルギーセンター、研修医宿舎、看護職員宿舎、保育所

4 施設基準等（平成27年4月1日現在）

(1) 入院基本料に関する事項

- ・一般病棟入院基本料（7対1）

(2) 入院時食事療養費に関する事項

- ・入院時食事療養（I）

(3) 基本診療料に関する事項

- ・地域歯科診療支援病院歯科初診料
- ・歯科診療特別対応連携加算
- ・臨床研修病院入院診療加算（医科・歯科）
- ・救急医療管理加算
- ・妊産婦緊急搬送入院加算
- ・医師事務作業補助体制加算2（75対1）
- ・急性期看護補助体制加算（25対1）看護補助者5割未満、看護職員夜間配置加算
- ・療養環境加算
- ・重症皮膚潰瘍管理加算
- ・栄養サポートチーム加算
- ・感染防止対策加算1
- ・患者サポート体制充実加算
- ・ハイリスク妊娠管理加算
- ・退院調整加算
- ・救急搬送患者地域連携受入加算
- ・呼吸ケアチーム加算
- ・データ提出加算2
- ・小児入院医療管理料3
- ・歯科外来診療環境体制加算
- ・総合入院体制加算2
- ・超急性期脳卒中加算
- ・診療録管理体制加算2
- ・重症者等療養環境特別加算
- ・精神科リエゾンチーム加算
- ・医療安全対策加算1
- ・感染防止対策地域連携加算
- ・褥瘡ハイリスク患者ケア加算
- ・ハイリスク分娩管理加算
- ・救急搬送患者地域連携紹介加算
- ・総合評価加算
- ・病棟薬剤業務実施加算
- ・特定集中治療室管理料1

(4) 特掲診療料

- ・高度難聴指導管理料
- ・がん性疼痛緩和指導管理料
- ・糖尿病透析予防指導管理料
- ・夜間休日救急搬送医学管理料
- ・外来放射線照射診療料
- ・地域連携診療計画管理料
- ・肝炎インターフェロン治療計画料
- ・医療機器安全管理料1,2
- ・歯科治療総合医療管理料
- ・在宅患者訪問看護・指導料及び同一建物居住者訪問看護・指導料
- ・HPV核酸検出
- ・検体検査管理加算（I）
- ・心臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡検査加算
- ・植込型心電図検査
- ・ヘッドアップティルト試験
- ・糖尿病合併症管理料
- ・がん患者指導管理料1,2,3
- ・院内トリアージ実施料
- ・外来リハビリテーション診療料
- ・開放型病院共同指導料（II）
- ・がん治療連携計画策定料
- ・薬剤管理指導料
- ・医療機器安全管理料（歯科）
- ・持続血糖測定器加算
- ・HPV核酸検出（簡易ジェノタイプ判定）
- ・検体検査管理加算（IV）
- ・時間内歩行試験
- ・皮下連続式グルコース測定

- ・長期継続頭蓋内脳波検査
- ・小児食物アレルギー負荷検査
- ・センチネルリンパ節生検（乳がんに係るものに限る。）併用法・単独法
- ・CT透視下気管支鏡検査加算
- ・大腸CT撮影加算
- ・外来化学療法加算1
- ・心大血管疾患リハビリテーション料（I）初期加算あり
- ・脳血管疾患等リハビリテーション料（I）初期加算あり
- ・運動器リハビリテーション料（I）初期加算あり
- ・呼吸器リハビリテーション料（I）初期加算あり
- ・がん患者リハビリテーション料
- ・エタノールの局所注入（甲状腺に対するもの）
- ・透析液水質確保加算2
- ・脳刺激装置植込術（頭蓋内電極植込術を含む。）及び脳刺激装置交換術
- ・脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術
- ・上顎骨形成術（骨移動を伴う場合に限る。）（歯科診療に係るものに限る。）、
下顎骨形成術（骨移動を伴う場合に限る。）（歯科診療に係るものに限る。）
- ・乳がんセンチネルリンパ節加算1
- ・経皮的冠動脈形成術
- ・経皮的中隔心筋焼灼術
- ・ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術
- ・植込型心電図記録計移植術及び植込型心電図記録計摘出術
- ・大動脈バルーンパンピング法（IABP法）
- ・経皮的大動脈遮断術
- ・体外衝撃波胆石破碎術
- ・腹腔鏡下腓体尾部腫瘍切除術
- ・体外衝撃波腎・尿管結石破碎術
- ・医科点数表第2章第10部手術の通則5及び6（歯科点数表第2章第9部の通則4を含む。）に掲げる手術
- ・輸血管管理料I
- ・人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算
- ・広範囲顎骨支持型装置埋入手術
- ・放射線治療専任加算
- ・高エネルギー放射線治療
- ・強度変調放射線治療（IMRT）
- ・体外照射呼吸性移動対策加算
- ・定位放射線治療呼吸性移動対策加算
- ・口腔病理診断管理加算2
- ・神経学的検査
- ・CT撮影及びMRI撮影
- ・抗悪性腫瘍剤処方管理加算
- ・無菌製剤処理料
- ・歯科口腔リハビリテーション料2
- ・う蝕歯無痛の窩洞形成加算
- ・経皮的冠動脈ステント留置術
- ・ダメージコントロール手術
- ・腹腔鏡下肝切除術
- ・早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術
- ・輸血適正使用加算
- ・歯周組織再生誘導手術
- ・麻酔管理料（I）
- ・外来放射線治療加算
- ・1回線量増加加算
- ・画像誘導放射線治療加算
- ・定位放射線治療
- ・病理診断管理加算2
- ・クラウン・ブリッジ維持管理料

5 各種指定医・指定医療機関等の状況（平成27年4月1日現在）

(1) 指定医・指定医療機関

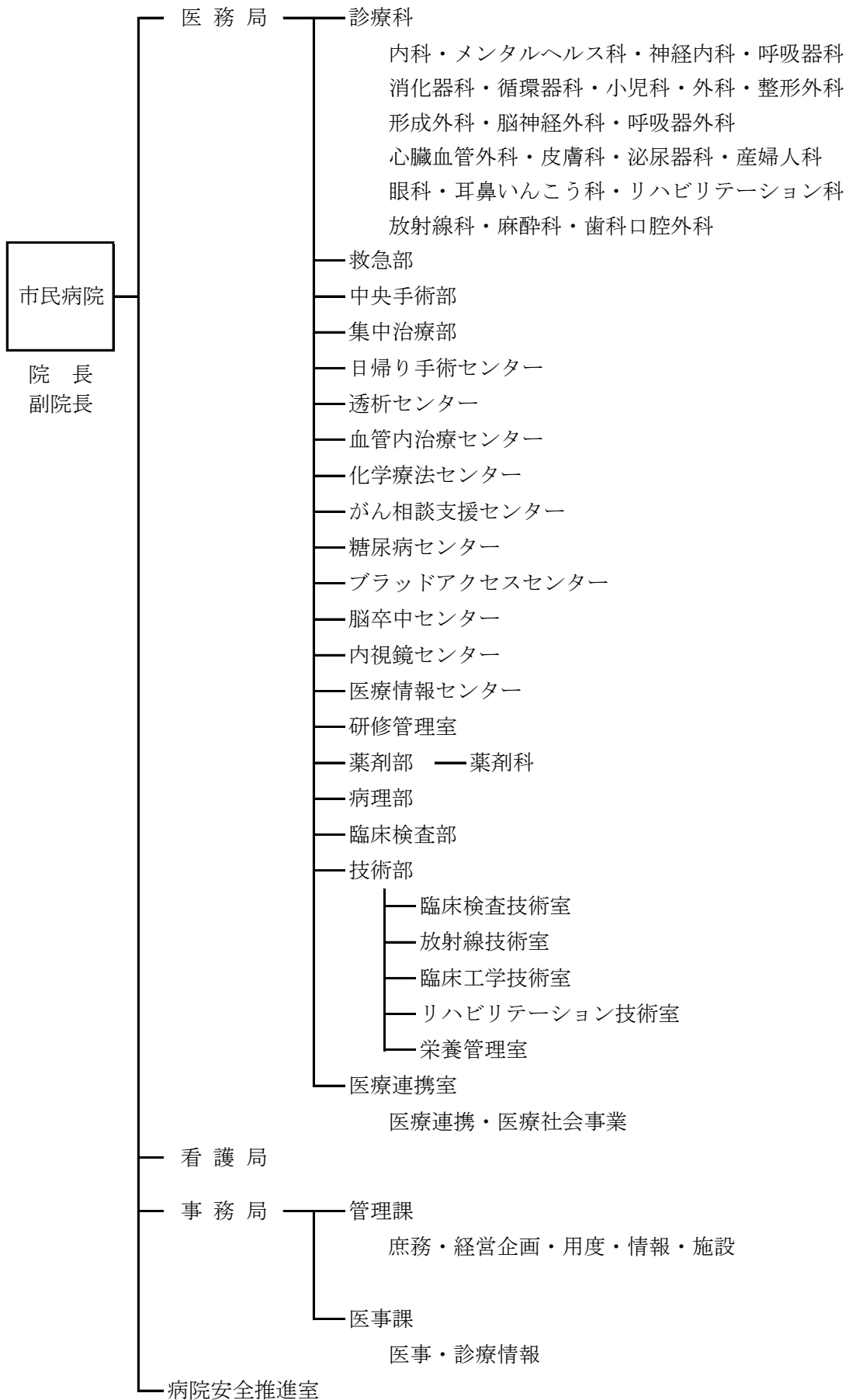
- ・ 保険医療機関
- ・ 被爆者一般疾病医療機関
- ・ 生活保護法指定医療機関
- ・ 労災保険指定医療機関
- ・ 難病指定医療機関
- ・ 臨床研修指定施設（歯科医師法）
- ・ 指定自立支援医療機関
- ・ 災害拠点病院（地域災害医療センター）
- ・ DMA T指定医療機関
- ・ 臓器提供施設
- ・ 国民健康保険医療機関
- ・ 救急告示病院
- ・ 結核指定医療機関
- ・ 母体保護法指定医師
- ・ 臨床研修指定病院（医師法）
- ・ 第二種感染症指定医療機関
- ・ 肝疾患専門医療機関
- ・ 愛知県がん診療拠点病院
- ・ 地域医療支援病院
- ・ 指定小児慢性特定疾病医療機関

(2) 認定等

- ・ 日本内科学会認定医制度教育病院
- ・ 日本透析医学会専門医制度認定施設
- ・ 災害拠点病院（地域災害医療センター）
- ・ 日本神経学会専門医制度教育施設
- ・ DMA T指定医療機関
- ・ 日本乳癌学会認定医・専門医制度関連施設
- ・ 臓器提供施設
- ・ 日本整形外科学会専門医制度研修施設
- ・ 日本形成外科学会教育関連施設
- ・ 日本泌尿器科学会専門医教育施設
- ・ 日本産科婦人科学会専門医制度専攻医指導施設
- ・ 日本耳鼻咽喉科学会専門医研修施設
- ・ 日本眼科学会専門医制度研修施設
- ・ 日本消化器病学会専門医制度認定施設
- ・ 日本消化器内視鏡学会専門医制度指導施設
- ・ 日本消化器外科学会専門医制度専門医修練施設
- ・ 日本腎臓学会研修施設
- ・ 日本肝臓学会認定施設
- ・ 日本医学放射線学会放射線科専門医修練機関
- ・ 日本脳神経外科学会専門医認定制度研修施設
- ・ 日本口腔外科学会専門医制度認定研修施設
- ・ 日本循環器学会認定循環器専門医研修施設
- ・ 日本集中治療医学会専門医研修施設
- ・ 日本呼吸器学会認定施設
- ・ 日本心血管インターベンション治療学会研修関連施設
- ・ 日本小児科学会小児科専門医研修施設
- ・ 日本外科学会外科専門医制度修練施設
- ・ 日本麻酔科学会麻酔科認定病院
- ・ 日本輸血細胞治療学会始め4学会認定輸血検査技師制度指定施設

- ・日本栄養療法推進協議会認定NST（栄養サポートチーム）稼働施設
- ・日本病理学会研修認定施設B
- ・日本静脈経腸栄養学会・NST（栄養サポートチーム）稼働施設
- ・日本静脈経腸栄養学会栄養サポートチーム（NST）専門療法士取得に関わる実地修練施設
- ・日本病態栄養学会認定栄養管理・NST（栄養サポートチーム）実施施設
- ・日本脳卒中学会認定研修教育病院
- ・日本臨床細胞学会施設認定
- ・日本臨床細胞学会教育研修施設
- ・日本周産期・新生児医学会周産期母体・胎児専門医暫定研修施設
- ・日本周産期・新生児医学会周産期（新生児）専門医暫定研修施設
- ・日本糖尿病学会認定教育施設
- ・日本手外科学会認定研修施設
- ・日本がん治療認定医機構認定研修施設
- ・日本医療機能評価機構認定
- ・日本尿管学会始め関連10学会腹部ステントグラフト実施施設
- ・日本臨床腫瘍学会認定研修施設
- ・日本医療薬学会認定薬剤師制度研修施設
- ・日本医療薬学会薬物療法専門薬剤師研修施設
- ・日本医療薬学会がん専門薬剤師認定制度がん専門薬剤師研修施設
- ・日本肝胆膵外科学会認定高度技能専門医修練施設B
- ・日本胆道学会認定指導医制度指導施設
- ・下肢静脈瘤に対する血管内レーザー焼灼術の実施基準による実施施設
- ・日本高血圧学会専門医認定施設
- ・日本臨床衛生検査技師会精度保証施設
- ・日本内分泌学会内分泌代謝科認定教育施設
- ・マンモグラフィ検診精度管理中央委員会認定施設
- ・日本消化管学会胃腸科指導施設
- ・日本アレルギー学会アレルギー専門医教育研修施設（呼吸器科）
- ・日本アレルギー学会アレルギー専門医準教育研修施設（小児科）
- ・日本顎顔面インプラント学会認定研修施設

6 組織（平成27年4月1日現在）



7 職員数

| 職 種 | 平成24年度 | 平成25年度 | 平成26年度 |
|-------------|-----------------|-------------------|-------------------|
| 医 師 | 154 (30 - 31) | 156 (31 - 31) | 167 (29 - 36) |
| 薬 剤 師 | 25 (- 1) | 27 (- 1) | 27 |
| 診療放射線技師 | 28 (- 2) | 28 (- 2) | 30 (- 2) |
| 臨床検査技師 | 33 (- 6) | 33 (- 6) | 37 (- 9) |
| 理学療法士 | 9 | 9 | 9 |
| 作業療法士 | 4 | 4 | 5 |
| あん摩マッサージ指圧師 | 1 | 1 | 1 |
| はり師 | 1 | 1 | 1 |
| 臨床工学技士 | 15 (- 2) | 15 (- 1) | 16 |
| 視能訓練士 | 2 | 2 | 2 |
| 言語聴覚士 | 2 | 2 | 3 |
| 臨床心理士 | 2 | 2 | 2 |
| 超音波検査士 | 1 | 1 | 0 |
| 小 計 | 123 (- 11) | 125 (- 10) | 133 (- 11) |
| 助産師 | 35 (- 3) | 37 (- 3) | 37 (- 1) |
| 看護師 | 530 (- 78) | 569 (- 79) | 573 (- 76) |
| 准看護師 | 21 (- 8) | 15 (- 5) | 13 (- 4) |
| 歯科衛生士 | 5 (- 4) | 6 (- 5) | 6 (- 5) |
| 小 計 | 591 (- 93) | 627 (- 92) | 629 (- 86) |
| 行政事務職 | 38 (1 - 4) | 41 (2 - 6) | 52 (2 - 16) |
| 行政技術職 | 2 | 2 | 2 |
| 栄養士 | 3 | 3 | 4 (- 1) |
| 保育士 | 14 (- 13) | 14 (- 13) | 15 (- 14) |
| 現業員 | 1 | 1 | 1 |
| 用務員 | 55 (- 54) | 57 (- 56) | 51 (- 50) |
| 小 計 | 113 (1 - 71) | 118 (2 - 75) | 125 (2 - 81) |
| 合 計 | 981 (31 - 206) | 1,026 (33 - 208) | 1,054 (31 - 214) |

各年度6月1日現在の職員数。(-)は前が嘱託職員、後が臨時職員で内数。

休暇中職員を含む。

8 主要医療器械備品（平成26年度購入分）

※購入金額：税込2,000万円以上

| No. | 器 械 名 | 購入年月日 | 所 属 |
|-----|--------------|--------|---------|
| 1 | 電子内視鏡システム | 5月27日 | 消化器科 |
| 2 | 歯科用ユニット | 9月6日 | 歯科口腔外科 |
| 3 | 硝子体手術装置 | 9月26日 | 眼科 |
| 4 | 全自動総合血液学分析装置 | 9月30日 | 臨床検査技術室 |
| 5 | 心臓血管撮影装置 | 12月26日 | 循環器科 |
| 6 | 天井走行式一般撮影装置 | 1月29日 | 放射線技術室 |
| 7 | 汎用電動式手術台 | 2月14日 | 手術部 |
| 8 | 体外衝撃波結石破碎装置 | 2月23日 | 泌尿器科 |
| 9 | 電動ベッド | 2月24日 | 看護局 |

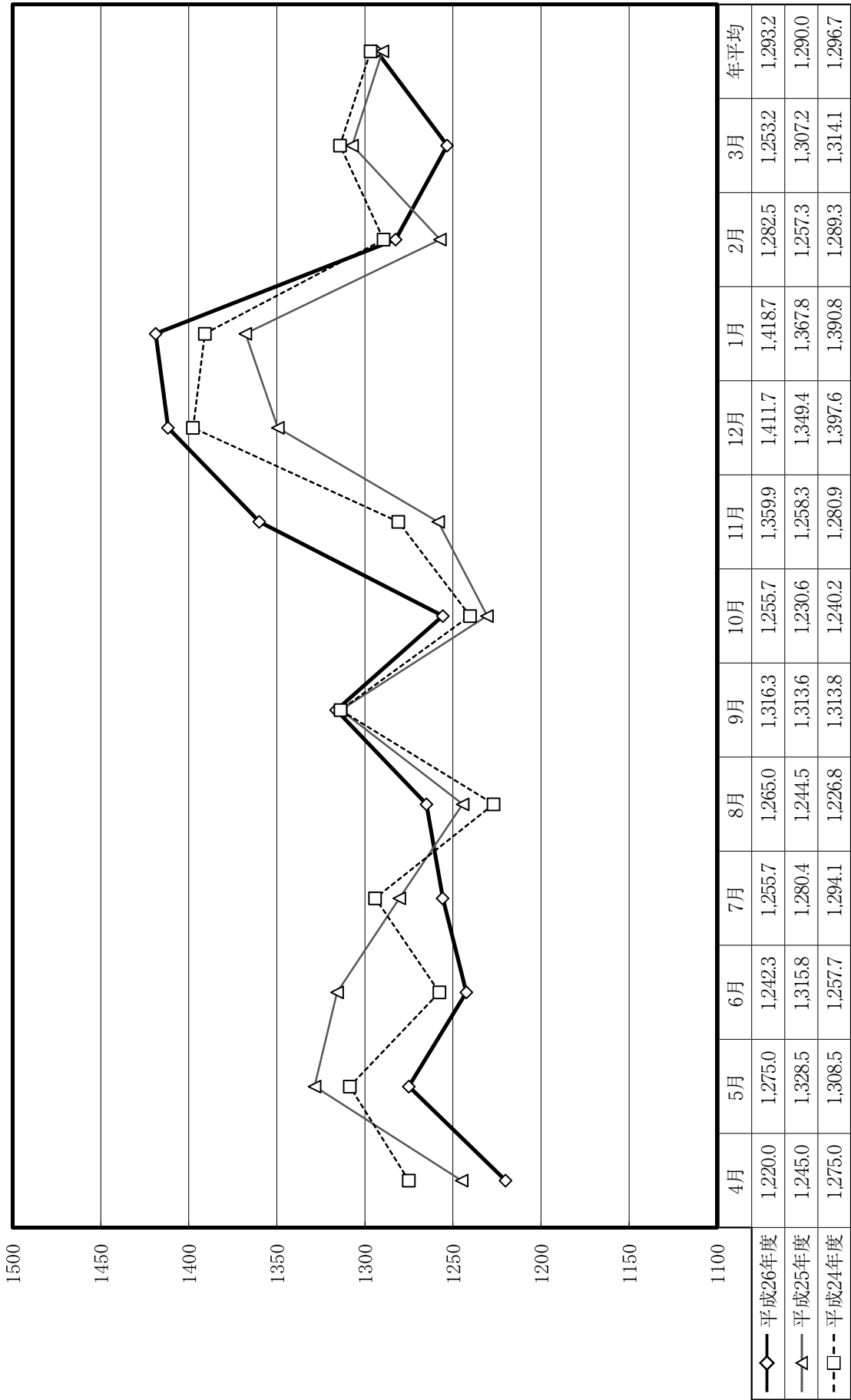
II 業務概要

1 外来受診者数

(単位:人)

| 科 | 平成26年 | | | | | | | | | | | | 平成27年 | | | 計 |
|------------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|--|--|---|
| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | | | | |
| 内科 | 4,210 | 4,052 | 3,995 | 4,324 | 4,141 | 4,087 | 4,349 | 3,784 | 4,496 | 4,842 | 3,997 | 4,448 | 50,725 | | | |
| メンタルヘルス科 | 417 | 445 | 436 | 478 | 431 | 424 | 455 | 390 | 413 | 431 | 385 | 419 | 5,124 | | | |
| 神経内科 | 1,764 | 1,687 | 1,755 | 1,923 | 1,677 | 1,849 | 1,826 | 1,645 | 1,882 | 1,936 | 1,725 | 1,766 | 21,435 | | | |
| 呼吸器科 | 500 | 531 | 544 | 640 | 631 | 681 | 775 | 700 | 703 | 722 | 642 | 758 | 7,827 | | | |
| 消化器科 | 2,906 | 2,737 | 2,867 | 3,101 | 3,007 | 2,992 | 3,100 | 2,785 | 2,945 | 3,107 | 2,913 | 3,169 | 35,629 | | | |
| 循環器科 | 1,355 | 1,319 | 1,296 | 1,348 | 1,261 | 1,286 | 1,448 | 1,372 | 1,283 | 1,271 | 1,186 | 1,408 | 15,833 | | | |
| 小児科 | 2,113 | 2,153 | 2,183 | 2,217 | 2,202 | 1,934 | 1,797 | 1,849 | 2,215 | 2,360 | 1,778 | 2,126 | 24,927 | | | |
| 外科 | 1,831 | 1,764 | 1,745 | 1,921 | 1,790 | 1,841 | 2,001 | 1,713 | 1,778 | 1,791 | 1,836 | 1,971 | 21,982 | | | |
| 整形外科 | 2,192 | 2,155 | 2,323 | 2,461 | 2,210 | 2,231 | 2,404 | 1,951 | 2,149 | 2,032 | 1,866 | 2,269 | 26,243 | | | |
| 形成外科 | 283 | 260 | 255 | 300 | 293 | 330 | 315 | 272 | 276 | 306 | 264 | 345 | 3,499 | | | |
| 脳神経外科 | 778 | 734 | 765 | 807 | 704 | 810 | 899 | 793 | 771 | 740 | 709 | 812 | 9,322 | | | |
| 呼吸器外科 | 22 | 12 | 24 | 23 | 20 | 26 | 19 | 22 | 23 | 23 | 25 | 18 | 257 | | | |
| 心臓血管外科 | 2 | 8 | 5 | 1 | 6 | 2 | 0 | 3 | 4 | 1 | 4 | 2 | 38 | | | |
| 皮膚科 | 781 | 866 | 844 | 875 | 963 | 847 | 834 | 704 | 726 | 724 | 642 | 716 | 9,522 | | | |
| 泌尿器科 | 1,503 | 1,518 | 1,623 | 1,597 | 1,695 | 1,605 | 1,708 | 1,431 | 1,723 | 1,618 | 1,440 | 1,648 | 19,109 | | | |
| 産婦人科 | 816 | 879 | 917 | 964 | 833 | 958 | 939 | 826 | 935 | 923 | 866 | 1,033 | 10,889 | | | |
| 眼科 | 844 | 847 | 877 | 884 | 934 | 826 | 851 | 731 | 895 | 776 | 790 | 852 | 10,107 | | | |
| 耳鼻いんこう科 | 1,482 | 1,478 | 1,376 | 1,476 | 1,563 | 1,413 | 1,518 | 1,443 | 1,433 | 1,368 | 1,304 | 1,476 | 17,330 | | | |
| リハビリテーション科 | 461 | 478 | 578 | 563 | 565 | 618 | 687 | 508 | 495 | 459 | 432 | 479 | 6,323 | | | |
| 放射線科 | 100 | 201 | 256 | 236 | 243 | 251 | 264 | 306 | 314 | 256 | 234 | 230 | 2,891 | | | |
| 麻酔科 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | | |
| 歯科口腔外科 | 1,261 | 1,376 | 1,425 | 1,487 | 1,396 | 1,314 | 1,436 | 1,250 | 1,364 | 1,270 | 1,330 | 1,626 | 16,535 | | | |
| 計 | 25,621 | 25,500 | 26,089 | 27,626 | 26,565 | 26,325 | 27,625 | 24,478 | 26,823 | 26,956 | 24,368 | 27,571 | 315,547 | | | |
| 実働日数 | 21 | 20 | 21 | 22 | 21 | 20 | 22 | 18 | 19 | 19 | 19 | 22 | 244 | | | |
| 1日平均 | 1,220.0 | 1,275.0 | 1,242.3 | 1,255.7 | 1,265.0 | 1,316.3 | 1,255.7 | 1,359.9 | 1,411.7 | 1,418.7 | 1,282.5 | 1,253.2 | 1,293.2 | | | |
| 平成25年度 | 26,145 | 27,899 | 26,315 | 28,168 | 27,378 | 24,959 | 27,073 | 25,166 | 25,639 | 25,988 | 23,889 | 26,144 | 314,763 | | | |
| 平成24年度 | 25,500 | 27,479 | 26,411 | 27,177 | 28,217 | 24,962 | 27,285 | 26,899 | 26,554 | 26,425 | 24,497 | 26,282 | 317,688 | | | |

1日平均外来受診者数の推移

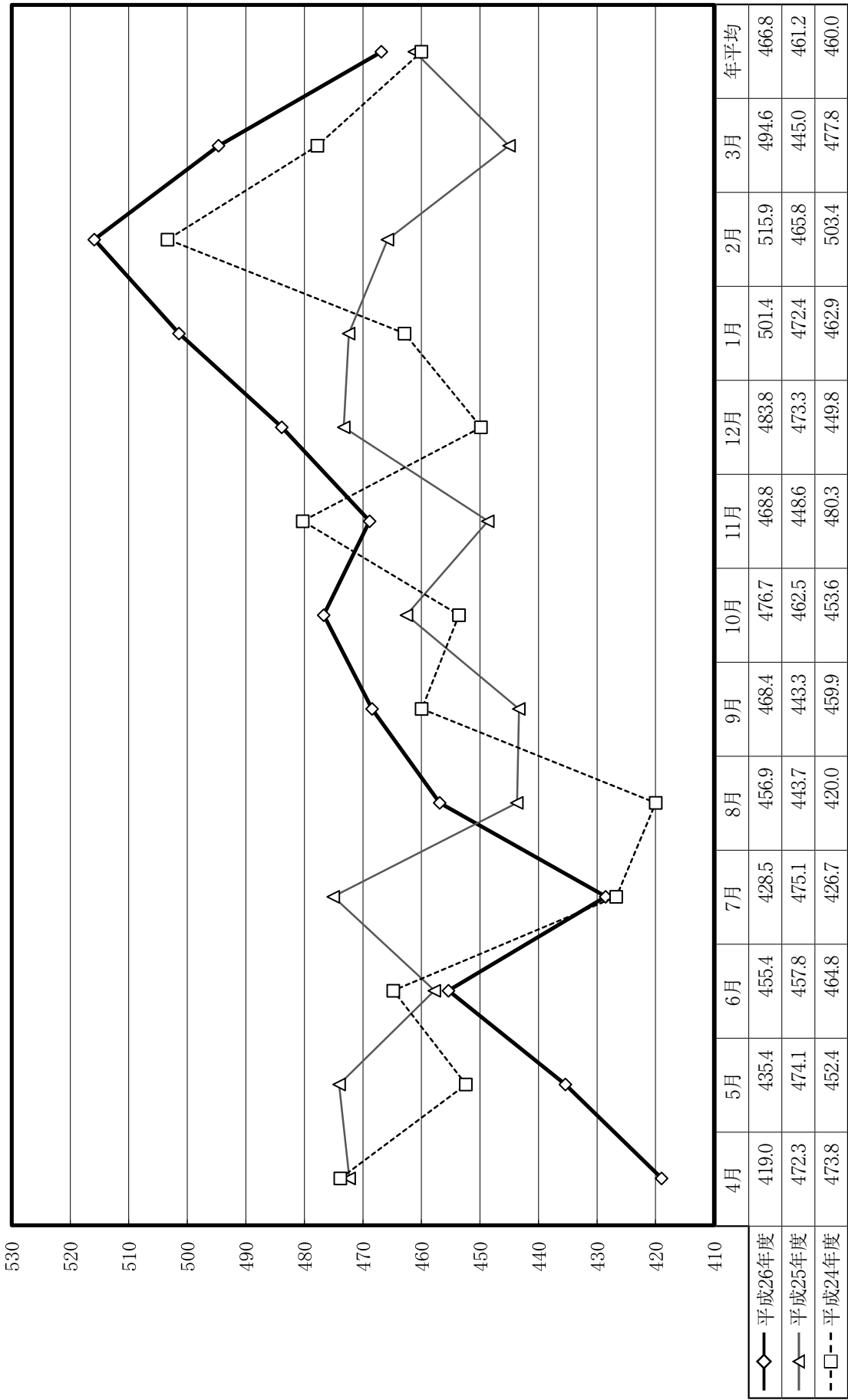


2 入院者数

(単位:人)

| 科 | 平成26年 | | | | 平成27年 | | | | | | | | | | | | 計 |
|------------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|---------|--|--|--|---|
| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | | | | | |
| 内科 | 1,539 | 1,850 | 1,934 | 1,573 | 1,796 | 2,071 | 1,985 | 1,677 | 1,900 | 2,100 | 1,824 | 2,068 | 22,317 | | | | |
| 神経内科 | 1,526 | 1,639 | 1,839 | 1,497 | 1,504 | 1,693 | 1,757 | 1,522 | 1,599 | 1,916 | 1,434 | 1,685 | 19,611 | | | | |
| 呼吸器科 | 210 | 294 | 469 | 547 | 692 | 750 | 588 | 913 | 968 | 1,001 | 890 | 840 | 8,162 | | | | |
| 消化器科 | 2,569 | 2,536 | 2,628 | 2,615 | 2,303 | 2,648 | 2,744 | 2,771 | 2,390 | 2,793 | 2,823 | 2,806 | 31,626 | | | | |
| 循環器科 | 1,094 | 946 | 864 | 825 | 811 | 639 | 880 | 956 | 1,214 | 1,483 | 1,337 | 1,278 | 12,327 | | | | |
| 小児科 | 648 | 776 | 652 | 705 | 909 | 836 | 922 | 874 | 1,057 | 888 | 844 | 992 | 10,103 | | | | |
| 外科 | 1,456 | 1,518 | 1,398 | 1,662 | 1,903 | 1,756 | 1,835 | 1,495 | 1,802 | 1,611 | 1,449 | 1,548 | 19,433 | | | | |
| 整形外科 | 1,107 | 1,306 | 1,181 | 1,190 | 1,318 | 1,147 | 1,432 | 1,442 | 1,716 | 1,642 | 1,466 | 1,514 | 16,461 | | | | |
| 形成外科 | 42 | 35 | 59 | 73 | 69 | 100 | 93 | 71 | 83 | 49 | 82 | 45 | 801 | | | | |
| 脳神経外科 | 787 | 895 | 1,040 | 850 | 932 | 863 | 1,065 | 1,016 | 780 | 735 | 812 | 962 | 10,737 | | | | |
| 呼吸器外科 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | | | |
| 心臓血管外科 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | | | |
| 皮膚科 | 75 | 78 | 92 | 90 | 46 | 36 | 42 | 18 | 69 | 39 | 20 | 63 | 668 | | | | |
| 泌尿器科 | 365 | 334 | 414 | 518 | 474 | 562 | 429 | 360 | 348 | 285 | 300 | 309 | 4,698 | | | | |
| 産婦人科 | 611 | 696 | 585 | 638 | 697 | 476 | 528 | 451 | 511 | 520 | 600 | 611 | 6,924 | | | | |
| 眼科 | 57 | 111 | 59 | 60 | 74 | 37 | 52 | 27 | 35 | 54 | 32 | 59 | 657 | | | | |
| 耳鼻いんこう科 | 256 | 254 | 210 | 265 | 294 | 205 | 217 | 241 | 297 | 180 | 261 | 223 | 2,903 | | | | |
| リハビリテーション科 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | | | |
| 放射線科 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | | | |
| 麻酔科 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | | | |
| 歯科口腔外科 | 227 | 229 | 237 | 175 | 341 | 234 | 208 | 231 | 230 | 248 | 271 | 331 | 2,962 | | | | |
| 計 | 12,569 | 13,497 | 13,661 | 13,283 | 14,163 | 14,053 | 14,777 | 14,065 | 14,999 | 15,544 | 14,445 | 15,334 | 170,390 | | | | |
| 実働日数 | 30 | 31 | 30 | 31 | 31 | 30 | 31 | 30 | 31 | 31 | 28 | 31 | 365 | | | | |
| 1日平均 | 419.0 | 435.4 | 455.4 | 428.5 | 456.9 | 468.4 | 476.7 | 468.8 | 483.8 | 501.4 | 515.9 | 494.6 | 466.8 | | | | |
| 新生児 | 149 | 214 | 162 | 134 | 203 | 141 | 172 | 162 | 164 | 187 | 188 | 197 | 2,073 | | | | |
| 感染症病棟 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | | | |
| 平成25年度 | 14,170 | 14,696 | 13,733 | 14,727 | 13,754 | 13,300 | 14,339 | 13,459 | 14,671 | 14,645 | 13,042 | 13,796 | 168,332 | | | | |
| 平成24年度 | 14,215 | 14,024 | 13,944 | 13,228 | 13,019 | 13,798 | 14,061 | 14,408 | 13,944 | 14,349 | 14,094 | 14,811 | 167,895 | | | | |

1日平均入院患者数の推移



3 入院・外来の患者構成と居住地区
年齢別入院患者数

(単位:人)

| | 平成25年度 | 平成26年度 |
|--------|--------|--------|
| 100歳以上 | 11 | 21 |
| 90歳代 | 491 | 585 |
| 80歳代 | 2,026 | 2,230 |
| 70歳代 | 3,105 | 3,232 |
| 60歳代 | 2,186 | 2,315 |
| 50歳代 | 975 | 931 |
| 40歳代 | 718 | 815 |
| 30歳代 | 531 | 521 |
| 20歳代 | 270 | 293 |
| 10歳代 | 294 | 341 |
| 0～9歳 | 1,587 | 1,360 |
| 計 | 12,194 | 12,644 |
| 平均年齢 | 58.1歳 | 59.8歳 |

居住地区別入院患者数

(単位:人)

| 地区名 | 平成25年度 | 平成26年度 |
|----------|--------|--------|
| 春日井地区 | 956 | 1,075 |
| 味美地区 | 709 | 697 |
| 勝川地区 | 1,299 | 1,317 |
| 南部地区 | 918 | 1,046 |
| 中部地区 | 1,304 | 1,310 |
| 鷹来地区 | 1,151 | 1,308 |
| 東部地区 | 2,001 | 2,021 |
| 高蔵寺地区 | 675 | 636 |
| 坂下地区 | 437 | 470 |
| ニュータウン地区 | 829 | 811 |
| 小牧市 | 991 | 1,084 |
| 名古屋守山区 | 242 | 209 |
| その他 | 682 | 660 |
| 計 | 12,194 | 12,644 |

年齢別外来患者数

(単位:人)

| | 平成25年度 | 平成26年度 |
|--------|--------|--------|
| 100歳以上 | 19 | 30 |
| 90歳代 | 883 | 871 |
| 80歳代 | 5,095 | 5,325 |
| 70歳代 | 10,520 | 10,701 |
| 60歳代 | 9,493 | 8,998 |
| 50歳代 | 5,623 | 5,586 |
| 40歳代 | 6,886 | 6,875 |
| 30歳代 | 6,678 | 5,989 |
| 20歳代 | 5,024 | 4,576 |
| 10歳代 | 4,236 | 4,222 |
| 0～9歳 | 9,205 | 8,848 |
| 計 | 63,642 | 62,021 |
| 平均年齢 | 46.6歳 | 47.2歳 |

居住地区別外来患者数

(単位:人)

| 地区名 | 平成25年度 | 平成26年度 |
|----------|--------|--------|
| 春日井地区 | 4,994 | 5,005 |
| 味美地区 | 3,224 | 3,168 |
| 勝川地区 | 5,619 | 5,616 |
| 南部地区 | 4,885 | 4,903 |
| 中部地区 | 6,674 | 6,509 |
| 鷹来地区 | 5,707 | 5,705 |
| 東部地区 | 9,635 | 9,506 |
| 高蔵寺地区 | 3,762 | 3,564 |
| 坂下地区 | 2,251 | 2,212 |
| ニュータウン地区 | 4,308 | 4,148 |
| 小牧市 | 5,847 | 5,588 |
| 名古屋守山区 | 1,684 | 1,526 |
| その他 | 5,052 | 5,478 |
| 計 | 63,642 | 62,021 |

4 医療連携事業

(単位:人)

| | 平成24年度 | 平成25年度 | 平成26年度 |
|---------|--------|--------|--------|
| 紹介受入患者数 | 23,251 | 25,150 | 25,878 |
| 診療 | 15,976 | 17,692 | 18,178 |
| 胃瘻交換 | 89 | 97 | 112 |
| P T A | 17 | 16 | 15 |
| 胃カメラ | 538 | 564 | 544 |
| 腹部エコー | 63 | 61 | 69 |
| 心エコー | 115 | 151 | 137 |
| 注腸透視 | 173 | 160 | 113 |
| 脳波 | 12 | 4 | 16 |
| C T | 2,090 | 1,986 | 1,943 |
| M R | 1,188 | 1,263 | 1,186 |
| アイソトープ | 51 | 32 | 43 |
| M M G | 141 | 121 | 125 |
| 小計 | 4,371 | 4,342 | 4,176 |
| 外来患者数合計 | 20,453 | 22,147 | 22,481 |
| 入院患者数 | 2,796 | 3,047 | 3,397 |

外来
医療機器共同利用

5 紹介・逆紹介患者数及び紹介率

(単位:人)

| | 平成24年度 | 平成25年度 | 平成26年度 |
|-----------------|--------|--------|--------|
| 紹介患者数(初診)(A) | 17,239 | 18,921 | 19,916 |
| 逆紹介患者数(B) | 22,543 | 21,273 | 23,456 |
| 初診患者数(C) | 53,737 | 52,369 | 51,693 |
| 救急車来院初診患者数(D) | 6,780 | 6,612 | 6,835 |
| 休日夜間受診初診患者数(E) | 15,545 | 14,710 | 14,293 |
| 紹介率(A)/(C-D-E) | 54.88% | 60.94% | 65.16% |
| 逆紹介率(B)/(C-D-E) | 71.77% | 68.52% | 76.74% |

※平成26年4月に変更された地域医療支援病院の計算式で算出

[科別紹介患者数]

(単位:人)

| | 紹介受入患者数 | 紹介目的 | | | 紹介経路 | | |
|------------|---------|-------|--------|-------|--------|-------|-----|
| | | 検査 | 外来 | 入院 | 当日 | 連携室 | WEB |
| 内科 | 1,944 | 16 | 1,403 | 525 | 1,399 | 545 | 0 |
| 神経内科 | 1,666 | 16 | 1,361 | 289 | 1,120 | 546 | 0 |
| 呼吸器科 | 1,263 | 0 | 1,015 | 248 | 804 | 459 | 0 |
| 消化器科 | 3,950 | 830 | 2,398 | 722 | 1,981 | 1,768 | 201 |
| 循環器科 | 2,306 | 197 | 1,813 | 296 | 1,195 | 1,028 | 83 |
| 内科小計 | 11,129 | 1,059 | 7,990 | 2,080 | 6,499 | 4,346 | 284 |
| メンタルヘルス科 | 101 | 0 | 101 | 0 | 76 | 25 | 0 |
| 小児科 | 1,647 | 0 | 1,172 | 475 | 1,433 | 214 | 0 |
| 外科 | 1,723 | 126 | 1,383 | 214 | 1,053 | 669 | 1 |
| 整形外科 | 1,300 | 0 | 1,037 | 263 | 965 | 335 | 0 |
| 形成外科 | 283 | 0 | 273 | 10 | 183 | 100 | 0 |
| 脳神経外科 | 729 | 0 | 634 | 95 | 538 | 191 | 0 |
| 呼吸器外科 | 12 | 0 | 3 | 9 | 5 | 7 | 0 |
| 心臓血管外科 | 5 | 0 | 4 | 1 | 3 | 2 | 0 |
| 皮膚科 | 470 | 0 | 459 | 11 | 344 | 126 | 0 |
| 泌尿器科 | 944 | 1 | 920 | 23 | 586 | 358 | 0 |
| 産婦人科 | 815 | 0 | 709 | 106 | 684 | 131 | 0 |
| 眼科 | 528 | 0 | 511 | 17 | 453 | 75 | 0 |
| 耳鼻いんこう科 | 1,133 | 0 | 1,057 | 76 | 814 | 319 | 0 |
| リハビリテーション科 | 2 | 0 | 2 | 0 | 1 | 1 | 0 |
| 放射線科 | 3,178 | 3,117 | 51 | 10 | 6 | 2,658 | 514 |
| 麻酔科 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 歯科口腔外科 | 1,879 | 0 | 1,872 | 7 | 1,664 | 215 | 0 |
| 計 | 25,878 | 4,303 | 18,178 | 3,397 | 15,307 | 9,772 | 799 |
| 平成25年度 | 25,150 | 4,411 | 17,692 | 3,047 | 15,512 | 8,885 | 753 |
| 平成24年度 | 23,251 | 4,479 | 15,976 | 2,796 | 13,312 | 9,270 | 669 |

6 診療時間外救急受入状況

(単位:件)

| 科 | 機関 | 消防署 | 救急情報センター | 医療機関 | 休日急病診療所 | 直接 | 電話依頼 | 計 |
|------------|----|-------|----------|-------|---------|--------|-------|--------|
| 内科 | | 788 | 0 | 58 | 2 | 1,820 | 750 | 3,418 |
| メンタルヘルス科 | | 2 | 0 | 0 | 0 | 5 | 0 | 7 |
| 神経内科 | | 1,522 | 1 | 73 | 7 | 802 | 563 | 2,968 |
| 呼吸器科 | | 271 | 0 | 43 | 6 | 287 | 153 | 760 |
| 消化器科 | | 827 | 0 | 143 | 22 | 1,517 | 837 | 3,346 |
| 循環器科 | | 537 | 1 | 49 | 5 | 485 | 286 | 1,363 |
| 小児科 | | 484 | 2 | 384 | 79 | 2,689 | 2,068 | 5,706 |
| 外科 | | 129 | 0 | 79 | 21 | 181 | 89 | 499 |
| 整形外科 | | 1,051 | 1 | 101 | 29 | 2,265 | 1,085 | 4,532 |
| 形成外科 | | 32 | 0 | 2 | 0 | 139 | 118 | 291 |
| 脳神経外科 | | 889 | 1 | 41 | 4 | 758 | 589 | 2,282 |
| 呼吸器外科 | | 1 | 0 | 0 | 0 | 4 | 1 | 6 |
| 心臓血管外科 | | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 2 |
| 皮膚科 | | 37 | 1 | 17 | 6 | 466 | 286 | 813 |
| 泌尿器科 | | 111 | 0 | 25 | 10 | 379 | 218 | 743 |
| 産婦人科 | | 41 | 0 | 9 | 5 | 249 | 356 | 660 |
| 眼科 | | 14 | 1 | 4 | 0 | 160 | 135 | 314 |
| 耳鼻いんこう科 | | 153 | 4 | 29 | 3 | 727 | 392 | 1,308 |
| リハビリテーション科 | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 放射線科 | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 麻酔科 | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 歯科口腔外科 | | 29 | 0 | 23 | 2 | 193 | 118 | 365 |
| 計 | | 6,918 | 12 | 1,080 | 201 | 13,127 | 8,045 | 29,383 |
| 平成25年度 | | 6,782 | 12 | 1,187 | 144 | 13,087 | 8,839 | 30,051 |
| 平成24年度 | | 6,796 | 8 | 1,196 | 162 | 12,854 | 9,742 | 30,758 |

7 予約受診者数

(単位:人)

| 科 | 予約状況 | | 再来受診 | 予約率 | 予約午後診察 |
|------------|---------|-------|---------|--------|--------|
| | 予約受診 | 1日平均 | | | |
| 内科 | 42,411 | 1738 | 44,399 | 95.5% | 19,981 |
| メンタルヘルス科 | 5,104 | 20.9 | 4,947 | 103.2% | 591 |
| 神経内科 | 14,242 | 58.4 | 16,546 | 86.1% | 9,901 |
| 呼吸器科 | 5,057 | 20.7 | 5,974 | 84.7% | 972 |
| 消化器科 | 17,905 | 73.4 | 29,334 | 61.0% | 10,274 |
| 循環器科 | 12,121 | 49.7 | 13,678 | 88.6% | 5,480 |
| 小児科 | 14,488 | 59.4 | 18,936 | 76.5% | 6,881 |
| 外科 | 22,002 | 90.2 | 19,918 | 110.5% | 5,375 |
| 整形外科 | 15,312 | 62.8 | 19,349 | 79.1% | 3,464 |
| 形成外科 | 2,908 | 11.9 | 2,802 | 103.8% | 358 |
| 脳神経外科 | 4,359 | 17.9 | 6,109 | 71.4% | 1,063 |
| 呼吸器外科 | 276 | 1.1 | 246 | 112.2% | 25 |
| 心臓血管外科 | 46 | 0.2 | 38 | 121.1% | 12 |
| 皮膚科 | 6,178 | 25.3 | 7,490 | 82.5% | 289 |
| 泌尿器科 | 13,188 | 54.0 | 17,114 | 77.1% | 3,873 |
| 産婦人科 | 13,065 | 53.5 | 9,272 | 140.9% | 3,771 |
| 眼科 | 9,638 | 39.5 | 8,878 | 108.6% | 2,128 |
| 耳鼻いんこう科 | 12,142 | 49.8 | 14,176 | 85.7% | 2,497 |
| リハビリテーション科 | 6,322 | 25.9 | 6,322 | 100.0% | 7,772 |
| 放射線科 | 1,126 | 4.6 | 2,807 | 40.1% | 298 |
| 麻酔科 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0% | 276 |
| 歯科口腔外科 | 13,068 | 53.6 | 12,301 | 106.2% | 3,104 |
| 計 | 230,958 | 946.5 | 260,636 | 88.6% | 88,385 |
| 平成25年度 | 236,056 | 967.4 | 258,943 | 91.2% | 86,279 |
| 平成24年度 | 234,648 | 957.7 | 260,102 | 90.2% | 84,788 |

8 手術等件数

(単位:件)

| 区分 | 年月 | 平成26年 | | | | | | | | | | | | 平成27年 | | | 月平均 |
|------------|----------|-------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-------|-------|-------|-----|
| | | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 | | | |
| 手 | 内科 | 16 | 19 | 12 | 25 | 17 | 20 | 16 | 17 | 19 | 14 | 9 | 16 | 200 | 16.7 | | |
| | メンタルヘルス科 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0.0 | | |
| | 神経内科 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0.0 | | |
| | 呼吸器科 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0.0 | | |
| | 消化器科 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0.0 | | |
| | 循環器科 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 0.2 | | |
| | 小児科 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0.1 | | |
| | 外科 | 106 | 107 | 107 | 128 | 126 | 127 | 125 | 100 | 130 | 109 | 109 | 109 | 138 | 1,412 | 117.7 | |
| | 整形外科 | 66 | 71 | 65 | 73 | 58 | 65 | 84 | 68 | 91 | 75 | 77 | 84 | 877 | 73.1 | | |
| | 形成外科 | 4 | 4 | 6 | 4 | 8 | 8 | 7 | 4 | 7 | 7 | 7 | 5 | 71 | 5.9 | | |
| | 脳神経外科 | 12 | 26 | 23 | 10 | 14 | 15 | 16 | 18 | 11 | 10 | 10 | 14 | 179 | 14.9 | | |
| | 呼吸器科 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0.0 | | |
| | 心臓血管外科 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0.0 | | |
| | 皮膚科 | 4 | 4 | 5 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 3 | 2 | 3 | 0 | 31 | 2.6 | | |
| | 泌尿器科 | 18 | 12 | 20 | 20 | 14 | 22 | 18 | 21 | 16 | 17 | 14 | 11 | 203 | 16.9 | | |
| | 産婦人科 | 30 | 31 | 33 | 42 | 41 | 24 | 34 | 34 | 43 | 31 | 45 | 38 | 426 | 35.5 | | |
| | 眼科 | 30 | 25 | 30 | 36 | 32 | 26 | 26 | 23 | 25 | 26 | 18 | 30 | 327 | 27.3 | | |
| 耳鼻いんこう科 | 18 | 14 | 10 | 10 | 23 | 9 | 15 | 15 | 19 | 11 | 19 | 22 | 185 | 15.4 | | | |
| リハビリテーション科 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0.0 | | | |
| 放射線科 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0.0 | | | |
| 麻酔科 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0.0 | | | |
| 歯科口腔外科 | 18 | 12 | 11 | 14 | 17 | 13 | 13 | 11 | 11 | 11 | 11 | 10 | 152 | 12.7 | | | |
| 計 | | 322 | 326 | 322 | 364 | 352 | 331 | 358 | 313 | 375 | 313 | 322 | 368 | 4,066 | 338.8 | | |
| 平成25年度 | | 319 | 340 | 321 | 414 | 358 | 336 | 404 | 351 | 344 | 325 | 282 | 337 | 4,131 | 344.3 | | |
| 平成24年度 | | 345 | 369 | 343 | 331 | 403 | 336 | 405 | 370 | 357 | 364 | 325 | 357 | 4,305 | 358.8 | | |
| 眼 レンズ | 平成26年度 | 25 | 36 | 30 | 33 | 30 | 21 | 37 | 20 | 23 | 21 | 16 | 28 | 320 | 26.7 | | |
| | 平成25年度 | 27 | 24 | 32 | 40 | 35 | 33 | 23 | 31 | 22 | 21 | 27 | 29 | 344 | 28.7 | | |
| | 平成24年度 | 43 | 40 | 36 | 51 | 40 | 36 | 48 | 37 | 40 | 31 | 26 | 34 | 462 | 38.5 | | |
| ESWL | 平成26年度 | 2 | 2 | 9 | 6 | 5 | 2 | 5 | 2 | 9 | 3 | 5 | 7 | 57 | 4.8 | | |
| | 平成25年度 | 7 | 8 | 9 | 4 | 10 | 7 | 10 | 7 | 2 | 4 | 3 | 5 | 76 | 6.3 | | |
| | 平成24年度 | 5 | 5 | 10 | 7 | 6 | 9 | 5 | 7 | 4 | 4 | 6 | 3 | 71 | 5.9 | | |

9 人工透析件数 (単位:件)

| 区分 | 平成24年度 | 平成25年度 | 平成26年度 |
|-----|---------|---------|---------|
| 件数 | 13,172 | 12,776 | 12,814 |
| 月平均 | 1,097.7 | 1,064.7 | 1,067.8 |

10 分娩件数 (単位:件)

| 区分 | 平成24年度 | 平成25年度 | 平成26年度 |
|----|--------|--------|--------|
| 件数 | 450 | 437 | 368 |

11 剖検件数 (単位:件)

| 区分 | 平成24年度 | 平成25年度 | 平成26年度 |
|----|--------|--------|--------|
| 件数 | 11 | 15 | 16 |

12 栄養指導等件数 (単位:件)

| 区分 | 平成24年度 | 平成25年度 | 平成26年度 |
|-----------|--------|--------|--------|
| 栄養指導 | 1,570 | 1,892 | 2,393 |
| 栄養サポートチーム | 264 | 232 | 219 |

13 処方せん枚数、薬剤管理指導件数 (単位:件)

| 区分 | 平成24年度 | 平成25年度 | 平成26年度 |
|-----------|---------|---------|---------|
| 入院 | 68,537 | 70,267 | 70,547 |
| 外来処方せん | 18,091 | 17,626 | 16,542 |
| 薬剤管理指導 | 12,857 | 11,409 | 14,178 |
| T P N無菌調製 | 5,459 | 6,654 | 5,984 |
| 化学療法調製件数 | 6,422 | 5,131 | 5,460 |
| 注射せん枚数 | 117,796 | 128,748 | 130,836 |
| 計 | 229,162 | 239,835 | 243,547 |
| 院外処方せん | 139,624 | 136,266 | 132,728 |
| 院外処方せん発行率 | 88.5 | 88.5 | 88.9 |

※診療時間外救急受診時は院内処方の方としている

14 検査件数 (単位:件)

| 区分 | 平成24年度 | 平成25年度 | 平成26年度 |
|-----|-----------|-----------|-----------|
| 生化学 | 1,777,204 | 1,870,717 | 2,003,653 |
| 免疫 | 168,228 | 177,076 | 179,677 |
| 血液 | 696,421 | 732,310 | 771,755 |
| 一般 | 454,044 | 475,911 | 487,429 |
| 細菌 | 44,581 | 49,587 | 53,019 |
| 病理 | 12,546 | 12,764 | 13,015 |
| 生 | 33,342 | 32,652 | 34,621 |
| 計 | 3,186,366 | 3,351,017 | 3,543,169 |

15 放射線撮影件数

(単位:件)

| 区分 | 平成24年度 | 平成25年度 | 平成26年度 |
|------------|----------|---------|---------|
| 一般 | 単純撮影 | 73,900 | 79,489 |
| | ポータブル | 10,862 | 10,048 |
| 骨塩測定 | 567 | 596 | 732 |
| M | 13,605 | 14,474 | 16,506 |
| 乳腺エコー | 1,422 | 1,446 | 1,476 |
| C | 34,971 | 38,282 | 42,542 |
| 泌尿器科・婦人科撮影 | 266 | 285 | 301 |
| 透視 | UGI | 312 | 259 |
| | 注腸 | 454 | 345 |
| | 透視検査 | 4,937 | 5,670 |
| アイントープ | 1,062 | 1,466 | 1,771 |
| 放射線治療 | 3,286 | 1,955 | 4,273 |
| 血管 | 心カテ | 1,152 | 931 |
| | 脳・腹部・その他 | 992 | 1,030 |
| テレビタ | 画像入力 | 3,070 | 3,596 |
| | 画像出力 | 5,435 | 8,676 |
| ESWL | 120 | 120 | 93 |
| 計 | 156,413 | 163,126 | 177,738 |

16 各種検診等

| 区分 | 件数(件) | 金額(円) | 健診日 |
|------------------|-------|------------|---------|
| 乳児健診 | 333 | 1,747,890 | 毎週金曜日 |
| 妊婦健診 | 4,064 | 30,807,631 | 平日診療日 |
| 被爆者健診 | 49 | 405,846 | 6月・11月 |
| 乳児等予防接種 | 250 | 2,422,992 | 毎週火・木曜日 |
| 肺炎球菌予防接種(高齢者) | 126 | 712,858 | 平日診療日 |
| インフルエンザ予防接種(高齢者) | 884 | 2,202,520 | 10月～12月 |
| X-P委託 | 4 | 8,640 | |
| 結核定期病状調査 | 16 | 48,000 | |
| その他の | 621 | 6,885,668 | |
| 計 | 6,347 | 45,242,045 | |

※春日井市特定健診は未実施

(単位:件)

17 がん相談支援センター相談件数

| 区分 | 平成24年度 | 平成25年度 | 平成26年度 |
|----|--------|--------|--------|
| 件数 | 1,187 | 1,251 | 1,895 |

18 特殊外来の状況

(単位:件)

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 | 月平均 | 25年度 | 24年度 |
|---------|------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-------|-----|-------|-------|
| 女性専用外来 | 2 | 2 | 1 | 1 | 0 | 1 | 1 | 1 | 1 | 0 | 2 | 3 | 15 | 1 | 13 | 10 |
| 新生児聴覚検査 | 22 | 37 | 26 | 21 | 27 | 22 | 26 | 20 | 25 | 25 | 31 | 29 | 311 | 26 | 375 | 387 |
| 美容相談 | 10 | 10 | 9 | 10 | 9 | 8 | 12 | 8 | 7 | 11 | 9 | 10 | 113 | 9 | 159 | 198 |
| 日帰り手術 | 24 | 11 | 24 | 22 | 14 | 16 | 19 | 14 | 13 | 14 | 19 | 17 | 207 | 17 | 291 | 285 |
| | 消化器科 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 外科 | 9 | 11 | 8 | 12 | 5 | 6 | 11 | 6 | 8 | 5 | 13 | 104 | 9 | 144 | 161 |
| 形成外科 | 2 | 3 | 1 | 0 | 0 | 2 | 1 | 2 | 1 | 0 | 1 | 0 | 13 | 1 | 10 | 8 |
| 計 | 35 | 25 | 33 | 34 | 19 | 28 | 26 | 27 | 20 | 22 | 25 | 30 | 324 | 27 | 445 | 454 |
| 外来化学療法 | 327 | 330 | 325 | 340 | 319 | 320 | 369 | 294 | 354 | 365 | 357 | 376 | 4,076 | 340 | 3,729 | 4,177 |
| エピソード外来 | 6 | 5 | 5 | 8 | 3 | 3 | 4 | 6 | 8 | 4 | 7 | 8 | 67 | 6 | 40 | 19 |
| 脳卒中外来 | | | 17 | 18 | 18 | 20 | 17 | 17 | 23 | 23 | 35 | 35 | 223 | 19 | | |

19 市民公開講座

平成24年度

| 日付 | 題名 | 診療科 | 講師 | 参加人数 |
|----------|--------------------|--------------|------|------|
| 6月9日(土) | 婦人科のがんについて | 産婦人科 | 下村裕司 | 59人 |
| | 婦人科の漢方治療について | 産婦人科 | 早川博生 | |
| 9月8日(土) | 慢性閉塞性肺疾患(COPD)について | 呼吸器科 | 鳥居正芳 | 49人 |
| | 楽に息をする、楽に動ける体を作る | リハビリテーション技術室 | 山下裕 | |
| 12月2日(日) | 心臓発作の治療と予防 | 循環器科 | 寺沢彰浩 | 550人 |
| | 脳卒中の治療と予防 | 神経内科 | 寺尾心一 | |
| 3月2日(土) | 腰部脊柱管狭窄症について | 整形外科 | 泉田誠 | 207人 |
| | 関節リウマチ治療の現状について | 副院長(整形外科) | 種田陽一 | |

平成25年度

| 日付 | 題名 | 診療科 | 講師 | 参加人数 |
|----------|-------------------------------|------------|-------|------|
| 6月8日(土) | 心臓発作の治療と予防 | 循環器科 | 寺沢彰浩 | 110人 |
| | 脳卒中の治療と予防 | 神経内科 | 寺尾心一 | |
| 11月2日(土) | 糖尿病の現状と最新の治療について | 内科(医務局長) | 佐々木洋光 | 130人 |
| | 糖尿病の予防について | 糖尿病センター | 松田淳一 | |
| 12月7日(土) | がんを乗り越えて | NPO法人ミーネット | 渡辺茂樹 | 260人 |
| | ここまで進んだ早期消化管がん(胃・食道・大腸)の診断・治療 | 消化器科 | 平田慶和 | |
| | がん腹腔鏡手術治療について | 日帰り手術センター | 渡邊真哉 | |
| 2月15日(土) | もの忘れと認知症について | 神経内科 | 寺尾心一 | 220人 |
| | 退院支援サービスについて | 地域連携ステーション | 白澤恵 | |

平成26年度

| 日付 | 題名 | 診療科 | 講師 | 参加人数 |
|-----------|-------------------|------------|------|------|
| 6月21日(土) | 体の健康は口の中から | 歯科口腔外科 | 脇田壮 | 38人 |
| | 肺炎を予防するためのポイント | 看護局 | 松永美保 | |
| | 正しいブラッシング方法 | 看護局(歯科衛生士) | 清水純子 | |
| 9月13日(土) | 怖い腎臓病を早期発見するために | 内科(医務局長) | 成瀬友彦 | 230人 |
| | 慢性腎臓病(CKD)の現状と課題 | 院長 | 渡邊有三 | |
| 12月13日(土) | 肺がんと言われたらどうする? | 副院長(呼吸器科) | 松本修一 | 120人 |
| 2月15日(土) | 食物アレルギーの診断と治療について | 小児科 | 小林貴江 | 76人 |
| | 家庭でのアレルゲン除去について | 栄養管理室 | 大門有紀 | |
| | いざという時のエピペン注射 | 薬剤部 | 服部芳明 | |

Ⅲ 経理概要

1 年度別収支状況（消費税抜）

(1) 総括

（単位：円）

| 科 目 | 平成24年度 | 平成25年度 | 平成26年度 |
|---------|----------------|-----------------|-----------------|
| 病院事業収益 | 14,256,469,035 | 14,253,019,704 | 14,880,198,964 |
| 病院事業費用 | 13,959,731,277 | 13,994,321,952 | 17,503,475,664 |
| 差引純損益 | 296,737,758 | 258,697,752 | △ 2,623,276,700 |
| 資本的収入 | 381,987,667 | 195,178,001 | 194,758,669 |
| 資本的支出 | 1,158,260,277 | 1,892,982,994 | 1,733,446,745 |
| 資本的収支差引 | △ 776,272,610 | △ 1,697,804,993 | △ 1,538,688,076 |

(2) 収益的収支

病院事業収益

(単位:円)

| 科 目 | 平成24年度 | 平成25年度 | 平成26年度 |
|----------|----------------|----------------|----------------|
| 医業収益 | 13,415,824,247 | 13,357,505,924 | 13,707,678,937 |
| 入院収益 | 9,307,901,300 | 9,172,751,757 | 9,334,140,513 |
| 外来収益 | 3,757,849,772 | 3,835,991,913 | 4,007,489,739 |
| その他医業収益 | 350,073,175 | 348,762,254 | 366,048,685 |
| 医業外収益 | 840,644,788 | 895,513,780 | 1,172,520,027 |
| 受取利息配当金 | 1,469,852 | 2,044,545 | 4,749,772 |
| 他会計補助金 | 662,840,000 | 708,915,000 | 761,424,000 |
| 補助金 | 22,279,000 | 22,195,000 | 22,539,000 |
| 長期前受金戻入 | | | 188,599,407 |
| その他医業外収益 | 154,055,936 | 162,359,235 | 195,207,848 |
| 特別利益 | 0 | 0 | 0 |
| 固定資産売却益 | 0 | 0 | 0 |
| 過年度損益修正益 | 0 | 0 | 0 |
| その他特別利益 | 0 | 0 | 0 |
| 計 | 14,256,469,035 | 14,253,019,704 | 14,880,198,964 |

病院事業費用

| 科 目 | 平成24年度 | 平成25年度 | 平成26年度 |
|-------------------|----------------|----------------|----------------|
| 医業費用 | 13,248,930,807 | 13,254,025,271 | 13,844,655,652 |
| 給与費 | 6,442,024,099 | 6,853,127,928 | 7,077,631,660 |
| 材料費 | 2,760,781,670 | 2,599,307,672 | 2,623,397,953 |
| 経費 | 2,648,311,565 | 2,387,245,705 | 2,297,225,958 |
| 減価償却費 | 1,339,334,829 | 1,348,866,111 | 1,770,662,081 |
| 資産減耗費 | 21,315,237 | 26,159,124 | 33,373,806 |
| 研究研修費 | 37,163,407 | 39,318,731 | 42,364,194 |
| 医業外費用 | 688,328,910 | 708,176,797 | 879,481,773 |
| 支払利息及び 企業債取扱諸費 | 237,908,673 | 224,873,465 | 211,583,169 |
| 繰延勘定償却 | 167,290,000 | 149,904,000 | 146,624,000 |
| 雑損失 | 283,130,237 | 333,399,332 | 521,274,604 |
| 特別損失 | 22,471,560 | 32,119,884 | 2,779,338,239 |
| 固定資産売却損 | 0 | 0 | 0 |
| 過年度損益修正損 | 22,471,560 | 14,876,103 | 6,992 |
| その他特別損失 | 0 | 17,243,781 | 2,779,331,247 |
| 計 | 13,959,731,277 | 13,994,321,952 | 17,503,475,664 |

※平成26年度特別損失には、地方公営企業会計制度の見直しによる退職給付引当金等の一括計上を含む

(3) 資本的収支

資本的収入

(単位:円)

| 科 目 | 平成24年度 | 平成25年度 | 平成26年度 |
|-----------|-------------|-------------|-------------|
| 企 業 債 | 0 | 0 | 0 |
| 出 資 金 | 177,321,000 | 180,580,000 | 183,902,000 |
| 負 担 金 | 0 | 0 | 0 |
| 工 事 収 入 | 0 | 0 | 0 |
| 他会計貸付金返還金 | 200,000,000 | 0 | 0 |
| 固定資産売却代金 | 0 | 0 | 0 |
| その他資本的収入 | 4,666,667 | 10,500,001 | 10,856,669 |
| 国 庫 補 助 金 | 0 | 0 | 0 |
| 県 補 助 金 | 0 | 4,098,000 | 0 |
| 計 | 381,987,667 | 195,178,001 | 194,758,669 |

資本的支出

| 科 目 | 平成24年度 | 平成25年度 | 平成26年度 |
|-----------|---------------|---------------|---------------|
| 建 設 改 良 費 | 406,965,676 | 1,135,848,535 | 960,829,840 |
| 償 還 金 | 709,282,191 | 722,317,399 | 735,607,695 |
| 投 資 | 42,012,410 | 34,817,060 | 37,009,210 |
| 計 | 1,158,260,277 | 1,892,982,994 | 1,733,446,745 |

2 貸借対照表(消費税抜)

資産の部

(単位:円)

| 科 目 | 借 方 | | |
|---------|----------------|----------------|----------------|
| | 平成24年度 | 平成25年度 | 平成26年度 |
| 固定資産 | 26,995,271,575 | 26,742,863,999 | 24,450,653,389 |
| 有形固定資産 | 25,803,476,154 | 25,572,195,299 | 23,293,578,559 |
| 土地 | 8,351,700,767 | 8,351,700,767 | 8,380,094,431 |
| 建物 | 15,215,380,981 | 14,281,828,982 | 11,867,947,818 |
| 構築物 | 281,514,528 | 277,155,714 | 167,736,800 |
| 器械備品 | 1,950,646,152 | 2,269,960,342 | 2,320,966,173 |
| 車両運搬具 | 4,233,726 | 7,537,779 | 7,089,237 |
| リース資産 | 0 | 0 | 549,744,100 |
| 建設仮勘定 | 0 | 384,011,715 | 0 |
| 無形固定資産 | 17,243,781 | 0 | 0 |
| 電話加入権 | 17,243,781 | 0 | 0 |
| 投資 | 1,174,551,640 | 1,170,668,700 | 1,157,074,830 |
| 貸付金 | 174,500,000 | 170,600,000 | 157,000,000 |
| 一般会計貸付金 | 1,000,000,000 | 1,000,000,000 | 1,000,000,000 |
| その他投資 | 51,640 | 68,700 | 74,830 |
| 流動資産 | 8,282,672,843 | 9,139,045,104 | 8,487,088,179 |
| 現金預金 | 5,962,355,157 | 6,969,471,617 | 6,028,633,778 |
| 未収金 | 2,144,721,123 | 2,000,851,584 | 2,276,126,717 |
| 未収金 | 2,144,721,123 | 2,000,851,584 | 2,363,126,717 |
| 貸倒引当金 | 0 | 0 | △ 87,000,000 |
| 保管有価証券 | 1,000,000 | 0 | 0 |
| 貯蔵品 | 174,596,563 | 168,721,903 | 179,054,965 |
| 前払金 | 0 | 0 | 3,272,719 |
| 繰延勘定 | 428,122,000 | 278,218,000 | 131,594,000 |
| 開発費 | 428,122,000 | 278,218,000 | 131,594,000 |
| 資産合計 | 35,706,066,418 | 36,160,127,103 | 33,069,335,568 |

負債の部

| 科 目 | 貸 方 | | |
|---------|---------------|---------------|-----------------|
| | 平成24年度 | 平成25年度 | 平成26年度 |
| 固定負債 | 1,710,009,450 | 1,656,648,971 | 14,064,068,558 |
| 企業債 | 0 | 0 | 10,244,077,578 |
| リース債務 | 0 | 0 | 297,753,980 |
| 引当金 | 1,710,009,450 | 1,656,648,971 | 3,522,237,000 |
| 退職給付引当金 | 720,342,450 | 824,371,971 | 2,832,000,000 |
| 修繕引当金 | 989,667,000 | 832,277,000 | 690,237,000 |
| 流動負債 | 1,351,740,683 | 2,137,213,218 | 2,987,153,097 |
| 企業債 | 0 | 0 | 749,158,356 |
| リース債務 | 0 | 0 | 270,621,408 |
| 未払金 | 1,346,677,040 | 2,131,658,305 | 1,399,427,732 |
| 預り有価証券 | 1,000,000 | 0 | 0 |
| 前受金 | 4,063,643 | 4,554,913 | 4,600,601 |
| 引当金 | 0 | 0 | 562,345,000 |
| 賞与引当金 | 0 | 0 | 562,345,000 |
| その他流動資産 | 0 | 1,000,000 | 1,000,000 |
| 繰延収益 | 0 | 0 | 2,875,597,950 |
| 長期前受金 | 0 | 0 | 5,949,709,677 |
| 受贈財産評価額 | 0 | 0 | 206,133,801 |
| 国庫補助金 | 0 | 0 | 307,935,479 |
| 県補助金 | 0 | 0 | 140,983,397 |
| 負担金 | 0 | 0 | 5,294,657,000 |
| 収益化累計額 | 0 | 0 | △ 3,074,111,727 |
| 受贈財産評価額 | 0 | 0 | △ 73,315,723 |
| 国庫補助金 | 0 | 0 | △ 119,183,389 |
| 県補助金 | 0 | 0 | △ 64,499,284 |
| 負担金 | 0 | 0 | △ 2,817,113,331 |
| 負債合計 | 3,061,750,133 | 3,793,862,189 | 19,926,819,605 |

資本の部

| 科 目 | 貸 方 | | |
|--------------------|-----------------|-----------------|-----------------|
| | 平成24年度 | 平成25年度 | 平成26年度 |
| 資本金 | 31,794,203,522 | 31,586,938,123 | 20,041,996,494 |
| 資本金 | 19,343,042,494 | 19,858,094,494 | 20,041,996,494 |
| 借入資本金 | 12,451,161,028 | 11,728,843,629 | 0 |
| 企業債 | 12,451,161,028 | 11,728,843,629 | 0 |
| 剰余金 | 850,112,763 | 779,326,791 | △ 6,899,480,531 |
| 資本剰余金 | 6,172,052,609 | 6,177,040,885 | 186,335,232 |
| 受贈財産評価額 | 209,501,525 | 210,391,801 | 4,258,000 |
| 国庫補助金 | 473,466,084 | 473,466,084 | 165,325,946 |
| 県補助金 | 155,170,000 | 159,268,000 | 16,751,286 |
| 負担金 | 5,333,915,000 | 5,333,915,000 | 0 |
| 利益剰余金 | △ 5,321,939,846 | △ 5,397,714,094 | △ 7,085,815,763 |
| 減債積立金 | 0 | 0 | 0 |
| 建設改良積立金 | 334,472,000 | 0 | 0 |
| 当年度末処分利 | | | |
| 剰余金 (当年度末処理欠損金) | △ 5,656,411,846 | △ 5,397,714,094 | △ 7,085,815,763 |
| 資本合計 | 32,644,316,285 | 32,366,264,914 | 13,142,515,963 |
| 負債・資本合計 | 35,706,066,418 | 36,160,127,103 | 33,069,335,568 |

3 経営分析

| 項 目 | | | | 平成24年度 | 平成25年度 | 平成26年度 | | |
|--------------------------------------|-----------------------|----------------------------|----------------------------|-------------------------|--------|--------|--------|-----|
| 病 利 用 床 率 | 一 | 般 | 年間入院患者数/年間延病 床数×100 | (%) | 83.6 | 83.7 | 84.0 | |
| | 感 | 染 | 年間入院患者数/年間延病 床数×100 | (%) | 0.0 | 0.0 | 0.0 | |
| 患 者 数 | 外来・入院患者比率 | | 年間外来患者数/年間延入 院患者数×100 | (%) | 189.2 | 187.0 | 185.2 | |
| | 職員1人 1日当たり 患者数 | 医 師 | 入院 | 年間延入院患者数/年間延 医師数 | (人) | 3.6 | 3.6 | 3.4 |
| | | | 外来 | 年間延外来患者数/年間延 医師数 | (人) | 6.8 | 6.8 | 6.3 |
| | | 看 護 部 門 職 員 | 入院 | 年間延入院患者数/年間延 看護部門職員数 | (人) | 0.8 | 0.8 | 0.8 |
| | | | 外来 | 年間延外来患者数/年間延 看護部門職員数 | (人) | 1.5 | 1.4 | 1.4 |
| 平均 在 院 日 数 | | | 延在院患者数/(入院患者 数+退院患者数)÷2 | (日) | 12.1 | 11.8 | 11.5 | |
| 平均外来一人当たり通院回数 | | | 年間外来患者数/年間新規 外来患者数 | (回) | 5.5 | 5.6 | 5.7 | |
| 収 入 | 患者1人 1日当たり 診療収入 | 入 院 | 入院収益/年間延入院患者数 | (円) | 55,439 | 54,492 | 54,781 | |
| | | 外 来 | 外来収益/年間延外来患者数 | (円) | 11,829 | 12,187 | 12,700 | |
| 薬 品 | 患者1人1日当たり 薬 品 費 | | 薬品費(投薬注射)/年間 延患者総数 | (円) | 2,071 | 2,114 | 2,147 | |
| | 薬 品 使 用 効 率 | | 薬品収入/薬品費(投薬注 射)×100 | (%) | 65.8 | 70.4 | 69.8 | |
| 診 療 収 入 に 対 し て | 投 薬 注 射 収 入 | | 投薬注射収入/入院外来収 益×100 | (%) | 5.1 | 5.5 | 5.5 | |
| | 検 査 収 入 | | 検査収入/入院外来収益× 100 | (%) | 8.2 | 8.5 | 8.8 | |
| | 放 射 線 収 入 | | 放射線収入/入院外来収 益×100 | (%) | 6.7 | 7.1 | 7.2 | |
| 医 業 収 益 に 対 し て | 薬 品 費 | | 薬品費(投薬注射)/医業 収益×100 | (%) | 7.5 | 7.6 | 7.6 | |
| | 医 療 材 料 費 | | 医療材料費/医業収益×100 | (%) | 20.6 | 19.5 | 19.1 | |
| | 職 員 給 与 費 | | 職員給与費/医業収益×100 | (%) | 48.0 | 51.3 | 51.6 | |
| 総 収 支 比 率 | | | 総収益/総費用×100 | (%) | 102.1 | 101.8 | 85.0 | |
| 経 常 収 支 比 率 | | | 経常収益/経常費用×100 | (%) | 102.3 | 102.1 | 101.1 | |
| 医 業 収 支 比 率 | | | 医業収益/医業費用×100 | (%) | 101.3 | 100.8 | 99.0 | |

平成26年度の病院事業概要

平成26年4月 脳卒中センター開設



脳卒中センター診察室と
脳神経外科による血管内治療

総合保健医療センターの整備に伴い、神経内科と脳神経外科が隣接した外来部門を作り、4月から脳卒中センターを開設しました。

平成26年4月
内視鏡センター開設

平成26年6月
糖尿病センターと
血管内治療センターの
移設・拡充と診療開始



休日夜間の緊急内視鏡を
行う緊急内視鏡室

最新型ハイビジョン内視鏡システム

緊急内視鏡を行う検査室

内視鏡カメラ



糖尿病と血管外科を一緒
にした糖尿病センター

平成26年11月

心臓カテーテル装置の更新



当院循環器内科は、心筋梗塞や狭心症などの虚血性心疾患、心不全、不整脈などの心臓病を対象とし、循環器全般にわたり初期治療から重症例にも対応した質の高い医療を提供しております。また、急性心筋梗塞をはじめとする循環器疾患救急医療においては、365日、24時間いつでも受け入れ可能です。

急性心筋梗塞や狭心症の治療に使用する心臓血管造影装置を平成26年11月に入れ替えを行い、最新鋭の装置を導入しました。この装置は従来の装置に比べて、多方向からの同時撮影、検査・治療時間の短縮、造影剤の低減、治療制度の向上などの面で優れてします。これらの特徴を活かし、心臓血管の治療を行い、血管内超音波や光干渉断層法などの血管を内側から観察できる装置を用い治療精度の向上にも努めております。

平成26年12月

採血室リニューアル

平成26年12月1日(月)より、採血室が、従来の心臓・腹部エコー室があった場所に移りました。採血台を6台に増やし、中待合室も広くなりました。また、採血番号の自動呼び出し機能を取り入れ、お名前での呼び出しを極力なくし、プライバシーの保護に努めてまいります。



画面・アナウンスの指示に従い採血室にお入り下さい。



採血室

採血番号が表示された採血台にて採血を行います。

平成27年2月

検査・入院案内コーナーと 地域連携ステーションの移設



地域連携誌「Trinity」の発行

市民病院では平成23年2月から年4回、地域の医療機関の皆様へ地域連携誌「Trinity」を発行しています。最近の医療の話題や当院の治療実績、メディカルスタッフやチーム医療の活動紹介等を取り上げています。春日井市民病院ホームページからもご覧いただけます。

[Http://www.hospital.kasugai.aichi.jp](http://www.hospital.kasugai.aichi.jp)



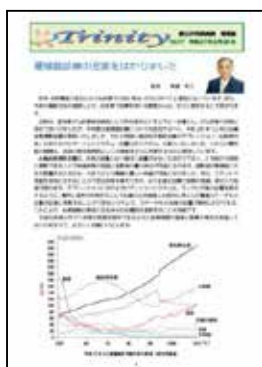
○平成26年5月25日号
脳卒中センター開設について
脳卒中センター 寺尾 心一、内藤 丈裕
副院長・医務局長着任のご挨拶
新任医師紹介
薬剤Q&A
Drug information
つむぎ 「看護相談外来について」
トモセラピー紹介
臨床心理士通信



○平成26年8月25日号
“新生呼吸器科”2014年4月スタート！
副院長 松本 修一
ヴァーチャル気管支鏡ナビゲーションシステムを導入しました
呼吸器科 岩田 晋
糖尿病センター移転・拡充しました
つむぎ 「認知症看護認定看護師」
薬剤Q&A



○平成26年11月25日号
腰椎椎間板ヘルニアの治療
整形外科 泉田 誠
部局紹介 ～安全推進室～
つむぎ 「脳卒中リハビリテーション認定看護師」
Drug information
チーム医療紹介 当院のNST活動
副院長 佐々木 洋光



○平成27年2月25日号
循環器診療の充実をはかりました
院長 渡邊 有三
心臓血管撮影室のリニューアル
循環器科 寺沢 彰浩
医療機器の紹介
つむぎ 「救急看護認定看護師」
Drug information
地域連携ステーションを移設しました

病院新聞「さくら」の発行

市民病院では平成17年8月から年4回、地域の皆様へ向けた病院新聞を発行しています。病気のおはなし、当院の治療実績や、病院行事などを取り上げて紹介しています。春日井市民病院ホームページからもご覧いただけます。

[Http://www.hospital.kasugai.aichi.jp](http://www.hospital.kasugai.aichi.jp)



○平成26年4月1日号
最新鋭の放射線治療装置を導入しました
市民病院ロゴマークが決定しました
救急部が移転・拡張しました
院内助産体験談
おやつレシピ
シリーズ 薬の使い方



○平成26年7月1日号
春日井市総合保健医療センターが開所しました
呼吸器科の診療体制が変わりました
診療棟1・2階の診察室及び検査室が変更になりました
糖尿病センター、内視鏡センター、脳卒中センター紹介
シリーズ もの忘れと認知症のおはなし（第1回）
神経内科 寺尾 心一
シリーズ 薬の使い方（第2回）
臨床研究に関するお知らせ



○平成26年10月1日号
市民病院救急外来の移設・拡充と診療棟の改修について
院長 渡邊 有三
シリーズ もの忘れと認知症のおはなし（第2回）
神経内科 寺尾 心一
シリーズ 薬の使い方（第3回）
2014健康救急フェスティバルに参加しました



○平成27年1月1日号
平成27年の新年を迎えるにあたって
院長 渡邊 有三
シリーズ もの忘れと認知症のおはなし（第3回）
神経内科 寺尾 心一
病院設備が新しくなりました
シリーズ 薬の使い方（第4回）
小児病棟の手作りガラスアートの紹介

中日新聞「リンクト」 LINKED

「病院を知ろう」、「シアワセをつなぐ仕事」に春日井市民病院が掲載されました。



平成26年5月発行



平成26年11月発行



平成27年2月発行

市民病院フォトギャラリー



ハワイアンショー



ゴスペルコンサート



オカリナコンサート



調整池のつつじ



庭園のさくら



光の切り絵・幻灯展



ピンクリボンライトアップ



雪景色



防災訓練の様子



ピンクリボンイベント



小児病棟クリスマス会

world diabetes day
14 November

11月14日は世界糖尿病デーです。
"Unite for Diabetes" (糖尿病と闘うため団結しよう) という
キャッチフレーズのもと全世界で
糖尿病予防に向けたイベントが開催されます。

当施設でもこの考え方に賛同し、敷地内各所を青くします。

ブルーライトアップ
2014年11月1日(土)~14日(金) 日没~午後9時

世界糖尿病デーの
ブルーサークル活動

監 修 渡 邊 有 三
編集委員 菱 田 雅 之
坂 洋 祐
田 中 真己人
鈴 江 智 恵
坂 井 勝 己
澤 井 康 憲
服 部 芳 明

春日井市民病院年報 第2巻

平成28年1月30日 印刷

平成28年2月1日 発行

編 集 春日井市民病院年報編集委員会

発 行 春日井市民病院

〒486-8510 春日井市鷹来町1丁目1番地1

電 話 (0568) 57-0057

印刷所 木野瀬印刷株式会社

〒486-0958 春日井市西本町3丁目235番地

電 話 (0568) 31-3118
